

平成21年度(2009年度)
ヤマハ発動機スポーツ振興財団
年間事業報告書

YMFS
www.ymfs.jp



公益財団法人
ヤマハ発動機スポーツ振興財団

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500
Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112

公益財団法人
ヤマハ発動機スポーツ振興財団
Yamaha Motor Foundation for Sports

CONTENTS

第一部（平成21年1月～3月）

総括・活動実績編

事業活動カレンダー 2

全体報告 3

個別事業総括

- ・スポーツ振興支援事業 4
- ・スポーツチャレンジ助成事業 8
- ・スポーツ文化事業 13

第二部（平成21年4月～平成22年3月）

総括編

事業活動カレンダー 16

全体報告 17

個別事業総括

- ・スポーツ振興支援事業 19
- ・スポーツチャレンジ助成事業 21
- ・スポーツ文化事業 23

活動実績編

スポーツ振興支援事業

- ・セーリングスポーツ振興について 27
- ・第18回 セーリングチャレンジカップ
イン 浜名湖 28
- ・第21回 全国児童
「水辺の風景画コンテスト」 30
- ・スポーツ教材提供 33

スポーツチャレンジ助成事業

- ・第3期生中間報告会 36
- ・第3回 スポーツチャレンジウィーク 38
- ・応募状況とチャレンジャー 42

スポーツ文化事業

- ・WEBサイト状況 44
- ・表彰制度
「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」... 45

[第一部] 総括・活動実績編

2009年度（2009年1～3月）の全体報告

2009年度（2009年1～3月）の個別事業総括

■平成21年1月～3月 事業活動カレンダー

月	日	財団運営関連	事業関連		
			スポーツ振興支援事業	スポーツチャレンジ助成事業	スポーツ文化事業
1	26～28			スポーツチャレンジ助成 審査委員会 第3期生決定	スポーツチャレンジ賞 選考委員会（第1回） 第1回 スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 決定
2	17	第一回理事会 第一回評議員会			
3	15		葉山スクール修了式		
3	18	公益財団法人認定取得			
3	20		船の科学館にて 「水辺の風景画」コンテスト 最優秀作品展示 (3/20～5/5)		
3	23～27			第2回スポーツチャレンジウィーク ・第2期生チャレンジ成果発表会 ・第2期生修了証授与式 ・第3期生助成金贈呈式 ・スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 表彰式	
3	27～29		第17回セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖		

平成21年度 (2009年1月～3月) の全体報告

- 財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団は、平成20年12月に施行された新公益法人法のもと、平成21年3月18日、内閣総理大臣より認定を受け、「公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団」として新たなスタートを切りました
- 同時に、事業年度を従来の「1月～12月」から「4月～翌年3月」に変更を行いました。
従って、この年間事業報告書では、平成21年1月～3月を平成21年度の第一部として、平成21年4月～平成22年3月を平成21年度の第二部として事業活動を報告します

[報告事項]

スポーツ振興支援事業

- ①「第17回 セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖」開催
- ② 船の科学館にて第20回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」優秀作品展示

スポーツチャレンジ助成事業

- ③ スポーツチャレンジ助成 第3期生 決定
- ④ 第2回 スポーツチャレンジウィーク 開催

スポーツ文化事業

- ⑤ 第1回 スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 決定

【スポーツ振興支援事業】

▶ 第17回 セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖

- 初参加の5クラブ (清水ヨットスポーツ少年団、夜須中学校ヨット部、射北中学校ヨット部、香川県ヨット連盟、宜野湾海洋教室)を含め、全国からの22クラブ102名が参加しました
- また、セーリング強国ニュージーランドから選手3名、コーチ1名を招聘。一緒にセーリング競技を行うとともに、レース後に実施した交流会／勉強会では、日本選手へのアドバイスや、ニュージーランドでどのような練習を行なっているか等、ディスカッションが活発に行われました
- ニュージーランドの3名は、ユースナショナルの上位選手であることから、初めて乗るSR級でも強風でのハンドリング、レースタクティクス等、全てにおいて国内選手とのレベルの違いを見せつけました
- ジュニア／ユースの榮樂洋光強化コーチ、北京オリンピック・レーザ級日本代表の飯島洋一選手をコーチングスタッフとして招き、レース中の技術指導、勉強会でのビデオを通した技術指導など、レベルの向上を図りました
- シーホッパーSR級、FJ級は、予定されていた全8レースを実施し、ミニホッパー級は5レースを実施。参加選手たちは、冬に逆戻りしたような強風のコンディションのなか、日頃の練習成果を披露しました

■開催概要

- 開催日:2009年3月27日～29日 開催場所:静岡県立三ヶ日青年の家 (静岡県浜松市)
- ◆ 共同主催／公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)
NPO 静岡セーリング連盟
- ◆ 参 加 艇／ミニホッパー級:21艇、シーホッパーSR級:47艇、FJ級:17艇
- ◆ 参加人数／22クラブ:102名
- ◆ 目 的／本大会は小学生から高校生までのジュニア、およびユース世代におけるセーリングスポーツの最高峰の大会として位置付け、毎年、春休みの期間を利用して開催しています。日頃培ったセーリングの技術を競い合うばかりでなく、技術を磨く選手達が交流する場でもあり、大会を通して心身ともにレベルアップすることを目的としています



■年間スケジュール

		1月	2月	3月
財団運営関連				
事業 関 連	スポーツ 振興支 援 事業		セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖 27 29 20 5/5 船の科学館にて「水辺の風景画」 コンテスト優秀作品展示	
	スポーツ チャ レンジ 助成事業		26 28 スポーツチャレンジ助成 審査委員会にて第3期生決定	23 27 第2回 スポーツチャレンジウィーク (成果発表会・修了式・贈呈式・表彰式)
	スポーツ 文化事業		26 28 スポーツチャレンジ賞選考委員会にて 第1回スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞決定	27 スポーツチャレンジ賞 表彰
<適宜>リリース・インフォメーション・WEBサイト更新				

交流会／勉強会 [期間:2009年3月27日～28日]

■3月27日（金）



レース終了後の勉強会では、ニュージーランドのナショナルコーチ（クリフトン・ウェブ氏）から、シングルハンダーのハンドリングやコントロール、ロープの調整方法を含め、基本的な技術をホワイトボードを使って説明この日は、12m/sec以上の強風であったことから、「強風でも風に負けないガッツと、精神的に強く挑戦する気持ちを持つことが大切」とアドバイスがありました。そして「明日に向けてのパワーの源である食事をしっかり摂取すること」もコメントされ、ニュージーランド選手への質問等、多くの質疑応答が活発に行われました

■3月28日（土）



3月28日の勉強会は、榮樂コーチを中心に夕食後に実施。この日は5レースが行われた後で選手にも疲労がありました
が、参加選手とコーチたちも積極的に参加し、レースでのビデオを教材にしっかり勉強していたのが印象的でした。
榮樂コーチが、スタートの方法とレースタクティクスを説明し、飯島選手がハンドリングについて、レースでの反省を
行いました

■競技種目



【シーホッパーSR級】



【ミニホッパー級】



【FJ級】

大会期間中は、寒さと強風でのレースとなり、
白熱したセーリングシーズンが見られました

■各クラスレース結果

●大会期間:2009年3月27日（金）～29日（日）●開催場所:静岡県三ヶ日青年の家

●クラス:ミニホッパー級 ●大会参加艇数: 21艇 ●成立レース数: 5レース ●カットレース数: 1レース

選手名	セール No.	クラブ名	学年	性別	第1レース(28日)			第2レース(28日)			第3レース(28日)			第4レース(29日)			第5レース(29日)			タイム	総計	順位
					着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点			
1 岡崎 一輝	47	YMFSジュニア葦山	中3	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	
2 南村 浩平	6505	山中湖中学校ヨット部	中2	男	2	2	2	4	4	4	2	2	2	2	2	3	3	3	4	9	2	
3 菊池 航平	5199	いわきジュニアヨットクラブ	小6	男	4	4	4	5	5	5	5	5	5	3	3	6	6	6	6	17	3	
4 村井 大航	5985	射北中学校ヨット部	中1	男	5	5	5	3	3	3	DNC	DNC	22	5	5	5	4	4	4	22	17	4
5 近藤 かなな	1	室蘭セーリング協会	中2	女	7	7	7	2	2	2	8	8	8	8	8	2	2	2	8	19	5	
6 天野 大志	6583	山中湖中学校ヨット部	中2	男	6	6	6	7	7	7	12	12	12	9	9	9	DNC	DNC	22	22	34	6
7 戸井 潮恵	6	清水ヨットスポーツ少年団	中1	女	8	8	8	6	6	6	11	11	11	12	12	10	10	10	12	35	7	
8 吉川 弘樹	6556	夜須中学校ヨット部	中2	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	4	4	4	4	4	8	8	8	8	22	38	8
9 恒光 翼	6554	夜須中学校ヨット部	中2	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	7	7	7	7	7	7	7	7	7	22	43	9
10 佐久間 海仁	6404	いわきジュニアヨットクラブ	中2	男	9	9	9	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	6	6	6	9	9	9	22	46	10
11 木村 健太	6318	山中湖中学校ヨット部	中2	男	11	11	11	DNC	DNC	22	13	13	13	13	13	11	11	11	11	22	48	11
12 中西 徳一郎	6631	射北中学校ヨット部	中2	男	3	3	3	DNF	DNF	22	6	6	6	DNF	DNF	22	DNC	DNC	22	22	53	12
13 野々村 海人	5503	清水ヨットスポーツ少年団	中1	男	10	10	10	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	10	10	10	12	12	12	22	54	13
14 南 百恵	5173	射北中学校ヨット部	中2	女	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	9	9	9	DNF	DNF	22	5	5	5	22	58	14
15 川尻 優太	6630	射北中学校ヨット部	中1	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	10	10	10	11	11	11	DNF	DNF	22	22	65	15
16 扇谷 司	6582	射北中学校ヨット部	中1	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	3	3	3	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	22	69	16
17 木島 亘一朗	5	兵庫県セーリング連盟ジュニア	小6	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	22	88	17
18 島崎 莉奈	5127	射北中学校ヨット部	中2	女	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	22	88	17
19 畑 幹太	5536	山中湖中学校ヨット部	中1	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	22	88	17
20 小泉 美菜里	5993	山形県セーリング連盟ジュニア	小4	女	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	22	88	17
21 天野 流一郎	6457	山中湖中学校ヨット部	中2	男	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	DNC	DNC	22	22	88	17

【第1レース】風向300度、風速6.5m/s、開始時刻9:45、TOP艇フィニッシュ時刻10:12、終了時刻10:27 【第2レース】風向300度、風速5m/s、開始時刻10:45、TOP艇フィニッシュ時刻11:16、終了時刻11:31 【第3レース】風向300度、風速7m/s、開始時刻11:45、TOP艇フィニッシュ時刻15:17、終了時刻15:32 【第4レース】風向295度、風速7m/s、開始時刻9:15、TOP艇フィニッシュ時刻9:50、終了時刻10:05 【第5レース】風向280度、風速7m/s、開始時刻10:30、TOP艇フィニッシュ時刻11:02、終了時刻11:17

●クラス:シーホッパーSR級 ●大会参加艇数: 47艇 ●成立レース数: 8レース ●カットレース数: 1レース

選手名	セール No.	クラブ名	学年	性別	第1レース(28日)			第2レース(28日)			第3レース(28日)			第4レース(28日)			第5レース(28日)			第6レース(28日)			第7レース(29日)			第8レース(29日)			タイム	総計	順位	
					着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点				
1 Josh Porebski	1	worser Bay Yacht Club	中2	男	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	1	1	1	4	4	4	1	1	1	1	1	1	4	13	1	
2 Rachel Basevi	3	sandspilf Yacgt Club	中3	女	1	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	3	3	3	13	2		
3 George Lane	2	murrayos Bay Sailing Club	中2	男	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	2	2	2	3	3	3	5	5	5	14	3		
4 前島 宗樹	13371	静岡県セーリング連盟	中2	男	4	4	4	4	4	4	7	7	7	4	4	4	6	6	6	3	3	3	5	5	5	2	2	2	7	28	4	
5 上村 健人	13400	静岡県セーリング連盟	中1	男	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5	4	4	4	8	8	8	6	6	6	4	4	4	8	33	5	
6 角野 吉宣	11228	神奈川県ユースヨットクラブ	中2	男	12	12	12	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5	5	6	6	6	7	7	7	6	6	6	12	43	6	
7 浅野 貴文	12768	YMFSジュニア葦山	中2	男	8	8	8	6	6	6	5	5	5	9	8	8	7	OCS	48	5	5	5	4	4	4	15	14	14	48	51	7	
8 佐藤 駿	12048	山形県ジュニアヨットクラブ	中1	男	10	10	10	10	10	10	12	12	12	7	7	7	9	9	9	7	7	7	10	10	10	11	10	10	12	62	8	
9 國政 真平	13348	玄海セーリングクラブ	中3	男	6	6	6	8	8	8	8	8	8	16	16	16	11	10	10	14	14	14	20	20	20	7	7	7	20	69	9	
10 久保 風太	13596	神奈川県ユースヨットクラブ	中2	男	DNF	DNF	48	14	14	14	16	16	16	8	8	8	10	9	9	11	11	11	8	8	8	8	8	8	48	74	10	
11 佐藤 真也	12128	山形県ジュニアヨットクラブ	中3	男	15	15	15	9	9	9	10	10	10	10	10	10	13	12	12	13	13	13	11	11	11	19	18	18	80	11		
12 吉田 真一朗	13376	玄海セーリングクラブ	中3	男	9	9	9	11	11	11	17	17	17	17	DNC	DNC	48	12	11	11	12	12	12	12	12	17	16	16	48	88	12	
13 内田 才生	11325	清水ヨットスポーツ少年団	高3	男	21	21	21	13	13	13	11	11	11	19	19	19	8	7	7	9	9	9	9	9	9	10	DSQ	48	48	89	13	
14 久保 淳	11922	神奈川県ユースヨットクラブ	中1	男	7	7	7	18	18	18	20	20	20	14	14	14	16	15	10	10	10	16	16	16	12	11	11	20	91	14		
15 森本 一樹	12026	相良高校ヨット部	高2	男	13	13	13	17	17	17	9	9	9	12	12	12	18	17	17	15	15	15	13	13	13	14	13	17	92	15		
16 林 宏希	12029	羽咋工業高校ヨット部	高1	男	11	11	11	12	12	12	14	14	14	15	15	15	17	16	16	19	19	19	18	18	18	17	17	17	103	16		
17 平田洋介	13239	神奈川県ユースヨットクラブ	中2	男	25	25	25	20	20	20	13	13	13	11	11	11	14	13	37	37	37	15	15	15	9	9	9	37	106	17		
18 加藤 大地	12013	YMFSジュニア葦山	中2	男	14	14	14	19	19	19	24	24	24	13	13	13	21	20	20	18	18	18	17	17	17	19	19	19	24	120	18	
19 北村 一朗	13325	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニア	中1	男	16	16	16	21	21	21	15	15	15	17	17	17	15	14	14	17	17	17	23	23	23	26	25	25	123	19		
20 藤原 一樹	13051	福島県セーリング連盟	中2	男	27	27	27	16	16	16	27	27	27	DNF	DNF	48	19	18	18	16	16	16	14	14	14	21	20	20	48	138	20	
21 元津 大地	13346	玄海セーリングクラブ	中3	男	20	20	20	15	15	15	19	19	19	DNF	DNF	48	32	31	31	24	24	24	24	24	24	13	12	12	48	145	21	
22 岩倉 明日香	12979	相良高校ヨット部	高2	女	31	31	31	22	22	22	21	21	21	18	18	18	25	24	24	23	23	23	22	22	22	22	22	31	152	22		
23 杉山 航一朗	13088	清水ヨットスポーツ少年団	中1	男	19	19	19	28	28	28	28	28	28	DNC	DNC	48	20	19	19	26	26	26	19	19	19	22	21	21	48	160	23	
24 本谷 文香利	12840	羽咋工業高校ヨット部	高1	女	18	18	18	29	29	29	22	22	22	20	20	20	27	26	26	33	33	33	29	29	29	25	24	24	33	168	24	
25 平川 竜也	13567	神奈川県ユースヨットクラブ	中2	男	17	17	17	DNC	DNC	48	18	18	18	DNF	DNF	48	35	34	34	20	20	20	21	21	21	16	15	15	48	173	25	
26 林 裕也	12015	羽咋工業高校ヨット部	高1	男	24	24	24	26	26	26	26	26	26	23	23	23	37	36	36	27	27	27	27	27	27	29	28	28	36	181	26	
27 喜田 寛史	13366	山川ヨット連盟	中2	男	26	26	26	25	25	25	30	30	30	DNC	DNC	48	23	22	22	25	25	25	32	32	32	31	30	30	48	183	27	
28 富田 隆樹	13193	YMFSジュニア葦山	中2	男	23	23	23	27	27	27	27	27	27	33	33	33	DNC	DNF	48	26	25	22	22	22	22	25	24	24	30	48	185	28
29 光村 一航	10150	清水ヨットスポーツ少年団	中1	男	29	29	29	24	24	24	31	31	31	24	24	24	22	21	21	28	28	28	38	38	38	30	29	29	38	186	29	
30 小岩 敬也	13050	YMFSジュニア葦山	中2	男	DNF	DNF	48	23	23	23	25	25	25	22	22	22	29	28	28	30	30	30	28	28	28	38	37	37	48	193	30	
31 大日向 喜雄	13424	玄海セーリングクラブ	中2	女	22	22	22	30	30	30	34	34	34	DNF	DNF	48	24	23	31	31	31	31	33	33	37	37	36	36	48	209	31	
32 池田 洋介	13406	相良高校ヨット部	高2	男	28	28	28	34	34	34	32	32	32	32	32	32	34	33	33	21	21	21	35	35	35	28	27	27	48	210	32	
33 山田 聖人	13052	福島県セーリング連盟	中2	男	32	32	32	32	32	32	23	23	23	DNC	DNC	48	31	30	30	38	38	38	26	26	26	33	32	32	48	213	33	
34 米澤 健佳	11602	羽咋工業高校ヨット部	高2	女	30	30	30	31	31	31	29	29	29	DNC	DNC	48	33	32	32	29	29	29	31	31	31	36	35	35	48	217	34	
35 谷内 浩紀	11841	羽咋工業高校ヨット部	高1	男	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	21	21	21	28	27	27	36	36	36	37	37	37	32	31	31	48	248	35	
36 森下 とも	12901	清水ヨットスポーツ少年団	中1	女	DNF	DNF	48	35	35	35	35	35	35	DNC	DNC	48	36	35	35	35	35	35	34	34	34	35	34	34	48	256	36	
37 塩崎 寛治	13412	神奈川県セーリング協会	中2	女	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	36	36	36	DNC	DNC	48	38	37	37	32	32	32	DNC	DNC	48	27	26	26	48	275	37	
38 伊藤 大地	13181	静岡県セーリング連盟	中2	男	DNF	DNF	48	37	37	37	37	37	37	DNC	DNC	48	39	38	38	30	30	30	38	38	38	38	38	38	48	275	38	
39 北 比呂	13232	京浜横浜洋行クラブ	中1	女	DNF	DNF	48	37	37	37	37	37	37	DNC	DNC	48	40	39	39	38	38	38	DNC	DNC	48	28	28	28	48	283	39	
40 村田 大志	11943	射北中学校ヨット部	中2	男	DNF	DNF	48	DNF	DNF	48	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	40	39	39	40	40	40	40	40	40	42	41	41	48	304	40	
41 村田 大朗	13043	射北中学校ヨット部	中2	女	DNS	DNS	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	39	38	38	39	39	39	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	317	41		
42 神谷 大志	13965	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニア	中2	女	DNF	DNF	48	DNF	DNF	48	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	41	41	41	39	39	39	48	320	42	
43 池川 花菜	13085	射北中学校ヨット部	中2	女	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	39	39	39	DNF	DNF	48	48	327	43	
44 江端 一樹	13041	射北中学校ヨット部	中2	男	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNF	DNF	48	41	40	40	48	328	44	
45 片山 拓哉	44	神奈川県ユースヨットクラブ	中2	男	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	48	336	45	
46 竹多 伸成	46	射北中学校ヨット部	中2	男	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	48	336	46	
47 鈴木 貴大	13053	福島県セーリング連盟	中1	男	DNS	DNS	48	DNF	DNF	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	DNC	DNC	48	48	336	47	

▶ 第20回 全国児童「水辺の風景画コンテスト」

■ 船の科学館にて優秀作品展示

概 要	期 間：2009年3月20日（祝・金）～5月17日（日） 10:00～17:00 会 場：船の科学館3階「マリタイムサルーン」 入場料：無料（入館料で見学可能 大人：700円、18歳以下：400円）
目 的	・船の科学館来館者に水辺の風景画入賞作品を見てもらうことで、水辺へ足を運び、そこで出会った風景や感動を絵に残したいと思ってもらうためのきっかけ作り ・水辺の風景画コンテストの入賞作品展示による、コンテストおよびそのコンセプトの認知、理解の促進（海事教育の一助、財団活動の認知・理解の促進）
まとめ	・幼稚園児・小学校児童の子供連れの家族が数多く見られました ・子供と同年代の作品に対し親が特に反応し、じっくりと見て回ることが多かった ・来場者数はそれほど多くはなかったものの、コンセプトは伝わったものと思います



※写真は3月19日の展示設営時のもの

※1日平均750名の来場者。大半が家族連れで、作品の前に立ち止りじっくりと子供たちの作品を熱心に見ていました
※展示会は好評につき、4月上旬の終了予定が5月17日まで延長となりました（場所は船の科学館1階ロビー）

【スポーツチャレンジ助成事業】

▶ 第3期生決定

■ 体験助成

氏名（年齢）・団体名	競技種目／他	体験テーマ	所属	出身地
石倉 恵介（43）	トライアスロン／選手	トライアスロン世界最高峰の大会（アイアンマン・ハワイ）においてエイジ優勝への挑戦	筑波大学	茨城県
太田 麻衣子（23）	トライアスロン／選手	トライアスロンで世界に挑戦する		千葉県
糸田 幸仁（42）	水泳 （障がい者スポーツ）／選手	日本初、重度障害者が水泳で世界を目指す	会社員	静岡県
黒須 成美（17）	近代五種／選手	ロンドンオリンピックに向けて	つくば秀英高校	茨城県
小島 智子（30）	チアリーディング／選手	NFLチアリーダー日本人最長7年連続合格	NFL Tampa Bay Buccaneers Cheerleaders	大阪府
近藤 圭佑（22）	スケルトン／選手	スケルトン競技力の向上 ～バンクーバーオリンピック出場に向けて～	埼玉大学	埼玉県
清水 聖志人（26）	レスリング／選手	2009年レスリング世界選手権での金メダル獲得	筑波大学	東京都
竹花 康太郎（22）	棒高跳び （障がい者スポーツ）／選手	2009年度台北デフリンピック遠征	大阪体育大学	大阪府
谷川 哲朗（24）	フィンスイミング／選手	フィンスイミングの競技力向上 ～世界への挑戦～	大阪教育大学	大阪府
中野 美沙（27）	やり投げ／選手	実践と理論の架け橋になるために	筑波大学	茨城県
佐藤 麻衣子（30）	セーリング／選手	セーリング競技のマッチレースという種目で世界を目指す	会社員	愛知県
原田 窓香（23）	リュージュ／選手	バンクーバーオリンピック出場及び上位入賞の為に	信州大学	長野県
森下 主税（21）	陸上 （障がい者スポーツ）／選手	2010年IPC世界選手権800m・1500m出場権獲得	日本福祉大学	愛知県
好川 菜々（30）	ボクシング／選手	「世界への思い」	大阪教育大学	大阪府

■ 研究助成

氏名（年齢）・団体名	研究テーマ	所属
小木曾 一之 他2名	バネ能力が長距離走のパフォーマンスに及ぼす影響	皇學館大学 教育学部
金沢大学 人間科学系運動生理学研究室	運動時の筋内酸素ダイナミクスとコンディショニング評価への応用の可能性	金沢大学 人間科学系運動生理学研究室
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 仰木研究室	スポーツにおける飛翔するヒト・用具の新たな運動解析法Ⅱ	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 仰木研究室
スポーツ工学研究会	卓球競技のためのトレーニング・アシストシステムの開発	国立スポーツ科学センター スポーツ情報研究部 スポーツ工学研究会
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 整形外科 スポーツ医学 金森 章浩	Platelet Rich in Growth Factorsを用いた末梢血由来成長因子によるウサギ膝内側側副靱帯損傷治療に関する研究	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 整形外科 スポーツ医学
独立行政法人理化学研究所 生体シミュレーション研究チーム	筋力発揮に伴う腱組織局所変形挙動の加齢変化と障害発生との関連	独立行政法人理化学研究所 生体シミュレーション研究チーム
浜松ホトニクス株式会社 スポーツホトニクス研究所 星川 佳広	サッカー選手のスプリント能力の評価基準作成と思春期選手の体幹トレーニングの効果	浜松ホトニクス株式会社 スポーツホトニクス研究所
林 直亨	運動中の眼底血流量変化を記録する試み ～運動時の視覚調節機構解明への手がかり～	九州大学 健康科学センター
吉岡 伸輔 他1名	クロスカントリースキーのバイオメカニクス研究	東京大学大学院 総合文化研究科
早稲田大学 スポーツ科学学術院 スポーツ神経科学研究室	野球のボールの回転・軌道と投球動作の関係の解析	早稲田大学スポーツ科学学術院 スポーツ神経科学研究室
渡邊 航平 他1名	超音波画像法を併用した表面筋電図の新たな記録技術 ～内転筋群への適用例～	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科

▶ 第2回 スポーツチャレンジウィーク

■ 海外留学生奨学金

氏名(年齢)	留学国／留学先校	留学テーマ	所属大学
辻本 香子(26)	中国／香港中文大學	現代都市における感覚と身体によるコミュニケーションの民族誌 ～香港の武館を対象に～	総合研究大学院博士課程 2年
山口 真理恵(19)	Australasian College of Natural therapies	スポーツトレーナー、コーチングの資格取得・ラグビーでのスキルアップ	NIC International College in Japan 1年

■ 外国人留学生奨学金

氏名(年齢)	国籍	留学テーマ	所属大学
黄 忠(25)	中国	一流競泳選手における推進効率の定量化、および泳技術特性の解明	鹿屋体育大学大学院 修士課程 2年
高 永壹(27)	韓国	韓国におけるスポーツ振興政策について	同志社大学 1年
朴 京眞(25)	韓国	学校における舞踊教育の比較検討 ～韓国の2007年改訂教育課程と日本の新学習指導要領を比較して～	筑波大学大学院 1年

■ 体験チャレンジャーの申請及び助成の状況



■ 研究チャレンジャーの申請及び助成の状況



■ 奨学生チャレンジャーの申請及び助成の状況



■ 第2回 スポーツチャレンジウィーク開催

開催日:3月23日(月)～ 27日(金) 開催場所:日本青年館

① 3月23日(月)、24日(火)

- ・体験チャレンジャーの成果発表会
- ・1、2、3期生交流会（チャレンジャーの使用グッズ紹介、競技紹介、抱負紹介ほか）
- ・審査委員特別賞&特別チャレンジャー賞の候補者選考

⇒ 第1期生(有志)と第2期生の体験成果発表は、客観的成果(勝敗や記録)もさることながら、自己分析の精度が上がり、プロセス成果(心技体の成長)が顕著でした。
また、課題が明確で、次に何をすべきかを良く捉えている点でも成長のあとが見られました。
加えて、意見も活発で第3期生を含む参加者の良い刺激となりました

② 3月25日(水)、26日(木)

- ・研究チャレンジャーの成果発表会
- ・1、2、3期生交流会（発表をパネルで紹介、意見交換など）
- ・審査委員特別賞&特別チャレンジャー賞の候補者選考

⇒ 第1期生(有志)と第2期生の研究成果発表は、さまざまな研究テーマに参加者の関心も高く、パネル展も含め、お互いの意見交換、研究議論の場として有意義なものとなりました

③ 3月27日(金)

- ・第2期生修了式 & 審査委員特別賞&特別チャレンジャー賞表彰
- ・第3期生助成金贈呈式
- ・スポーツチャレンジ賞 奨励賞・功労賞 表彰式

⇒ 今年から設置の「スポーツチャレンジ賞」については、「縁の下の力持ち」にスポットをあてる意義を、受賞者と花束贈呈に駆けつけた上野選手や国枝選手がコメントしたことで、賞に重みが増しました。
今後、多くのメディアにも取り上げられ、社会の理解と共感を得られるようにしたいと思います

■体験チャレンジャー成果発表

開催日:3月23日(月)、24日(火)

【チャレンジャー出席者】

第1期生 2名 ※内1名欠席 事前発表分をVTR上映
第2期生 12名
海外留学生 2名 ※内2名欠席 事前発表分をVTR上映
外国人留学生 2名

【審査委員ほか出席者】

長谷川理事長、浅見審査委員長、
ゼッターランド審査委員、今給黎審査委員
岸川事務局長、石井氏(玄)

【聴講者】第3期生

【内 容】成果発表会、交流会(23日)

▶バンクーバーを目指す
原田窓香さん
▶ラグビー国際審判を
目指す大槻早さん
▶北京パラリンピック
銀メダリスト
山本篤さん



▲発表会風景



▲審査委員から
コメント



▲女子ボクシング好川さん
の語に全員「ほ〜!!」



▲自転車競技の説明
をする徳安さんと石倉さん



▲フィンスイミングの
説明をする谷川さん

【レポート】

- 昨年の発表に比べ、自己分析の精度が高く、心・技・体の課題抽出、具体的取り組み、次年度目標設定などレベルが向上しました
- 競技での使用ツールを紹介しながらの発表のため、聞き手側も興味深く聞くことができ、質疑応答も活発でした
- 発表および交流会を通して、2期生、3期生とも互いに刺激を受け合うとともに、仲間意識が高まりました

◆スポーツチャレンジウィーク後の 第3期生のコメント

先週のスポーツチャレンジウィークでは大変お世話になりました。
2期生の体験発表では非常に刺激を受け、最終日の懇親会では研究助成の発表者とも懇親が持てて有意義な時間を過ごすことができました。

■研究チャレンジャー成果発表

開催日:3月25日(水)、26日(木)

【チャレンジャー出席者】

第1期生 5名 ※内1名欠席 事前発表分をVTR上映
第2期生 12名
海外留学生 1名 ※留学中につき事前発表分をVTR上映
外国人留学生 3名

【審査委員ほか出席者】

長谷川理事長、浅見審査委員長、
加賀谷審査委員、伊坂審査委員、
岸川事務局長

【聴講者】第3期生

【内 容】成果発表会、パネル展、交流会(25日)



▲パネル展風景



▲発表会風景



▲チャレンジャーからの積極的な質問

【レポート】

- 2日間で21名が発表。第1期生有志5名が発表会に参加。質問者が行っている研究に、関連する発表も多く、活発な質疑応答となりました。各チャレンジャーの研究への食欲さうかがえました
- 両日とも発表会後に実施したパネル展、交流会では、さらに熱のこもった議論が交わされました

◆チャレンジャーの スポーツチャレンジウィーク後のコメント

成果発表会等、本当にいろいろありがとうございました。他分野の方の発表をじっくり聞く機会がありませんので、今回の発表会はよい刺激になりました。

■平成20年度(第2期生)修了式

開催日:3月27日(金) 13:00~14:00

【対象者】第2期生(体験12名、研究12名、奨学生4名)



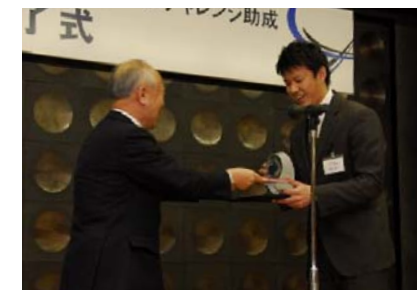
▲長谷川理事長より修了を授与



▲加賀谷審査委員より、特別チャレンジャー賞を授与される体験1期生の山本篤さん



▲特別チャレンジャー賞を授与された研究2期生の理化学研究所代表小田さんの受賞コメント



▲浅見審査委員長より、審査委員特別賞を授与される研究1期生の秋間広さん、渡邊航平さん(写真)



■平成21年度(第3期生)贈呈式

開催日:3月27日(金) 14:15~15:15

【対象者】第3期生(体験14名、研究11名、奨学生5名) 【来 賓】文部科学省 生涯スポーツ課 松原課長補佐



▲文部科学省 松原課長補佐より激励



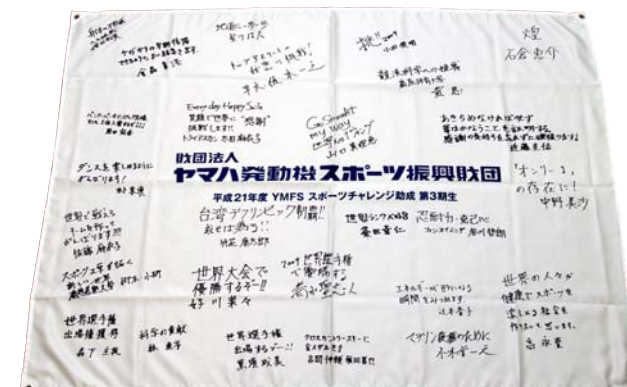
▲長谷川理事長より贈呈書授与



▲第3期生代表 近藤さん決意表明



▲チャレンジにかける思いを寄書に



これから1年間の
チャレンジへの
決意の寄書フラッグ

【スポーツ文化事業】

▶ 第1回「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」決定&表彰

※スポーツ振興・レベル向上に貢献した「縁の下の力持ち」が表彰対象

- 功労賞：長年の努力の積み重ねにより功績を残した「縁の下の力持ち」
- 奨励賞：一定期間に顕著な功績を残した「縁の下の力持ち」

■スポーツチャレンジ賞 奨励賞・功労賞 表彰

開催日:3月27日(金) 15:30~16:30

◆表彰対象者

○功労賞受賞者

中野政美氏：北海道立旭川南高校元柔道部監督
女子柔道金メダリストの恵本裕子選手、上野雅恵選手など同校出身の日本代表選手を多く輩出
地域のユース世代から国内トップへの橋渡し役として女子柔道の普及発展に貢献

○奨励賞受賞者

丸山弘道氏：財団法人吉田記念テニス研修センター・車いすプログラムエリートコーチ
北京パラリンピック 車いすテニス金メダリスト国枝選手や銅メダリスト斎田選手を育成指導
日本の車いすテニス界を世界レベルに導くとともに障がい者スポーツ指導者の励みとなる

◆出席者／長谷川理事長、浅見選考委員長、加賀谷選考委員、福永選考委員、今給黎選考委員
大坪選考委員、鈴木選考委員

◆メディア／TBSテレビ、長崎文化放送、大分朝日放送、テレビ信州、テレビ新潟、ABS秋田放送、
ベースボールマガジン社、ポイックス、朝日新聞、日本経済新聞、北海道新聞、読売新聞大阪本社、
中日新聞、デイリースポーツ、教育家庭新聞、日本運道具新報、テニスナビ

⇒ 3月28日(土) 朝日新聞、大阪読売新聞、北海道新聞に表彰式の記事掲載

⇒ 3月30日(月) TBS「朝ズバッ!」で丸山コーチ表彰の模様を放映



▲国枝選手、斎田選手から花束贈呈



▲奨励賞丸山弘道氏



▲お祝いに駆けつけた、アテネ、北京五輪、
女子柔道70kg級金メダリストの上野雅恵さん



▲功労賞中野政美氏



◆「縁の下の力持ち」を表彰するというコンセプトに・・・

祝福に駆けつけた、車いすテニスの国枝選手や
北京オリンピック女子柔道金メダリスト上野選手
から「自分たちは、メダルなどで祝福してもらえるが、
ここまで育ててくれた先生やコーチに何かしてあげ
られないか、いつも気にしていた。こうしたコンセプト
の賞で祝福できることはとても嬉しい」とのコメント
をいただきました。

MEMO

CONTENTS

第一部（平成21年1月～3月）

総括・活動実績編

事業活動カレンダー 2

全体報告 3

個別事業総括

・スポーツ振興支援事業 4

・スポーツチャレンジ助成事業 8

・スポーツ文化事業 13

第二部（平成21年4月～平成22年3月）

総括編

事業活動カレンダー 16

全体報告 17

個別事業総括

・スポーツ振興支援事業 19

・スポーツチャレンジ助成事業 21

・スポーツ文化事業 23

活動実績編

スポーツ振興支援事業

・セーリングスポーツ振興について 27

・第18回 セーリングチャレンジカップ
イン 浜名湖 28

・第21回 全国児童
「水辺の風景画コンテスト」 30

・スポーツ教材提供 33

スポーツチャレンジ助成事業

・第3期生中間報告会 36

・第3回 スポーツチャレンジウィーク 38

・応募状況とチャレンジャー 42

スポーツ文化事業

・WEBサイト状況 44

・表彰制度
「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」 45

[第二部] 総括編

2009年度（2009年4月～2010年3月）の全体報告

2009年度（2009年4月～2010年3月）の個別事業総括

■平成21年4月～平成22年3月 事業活動カレンダー

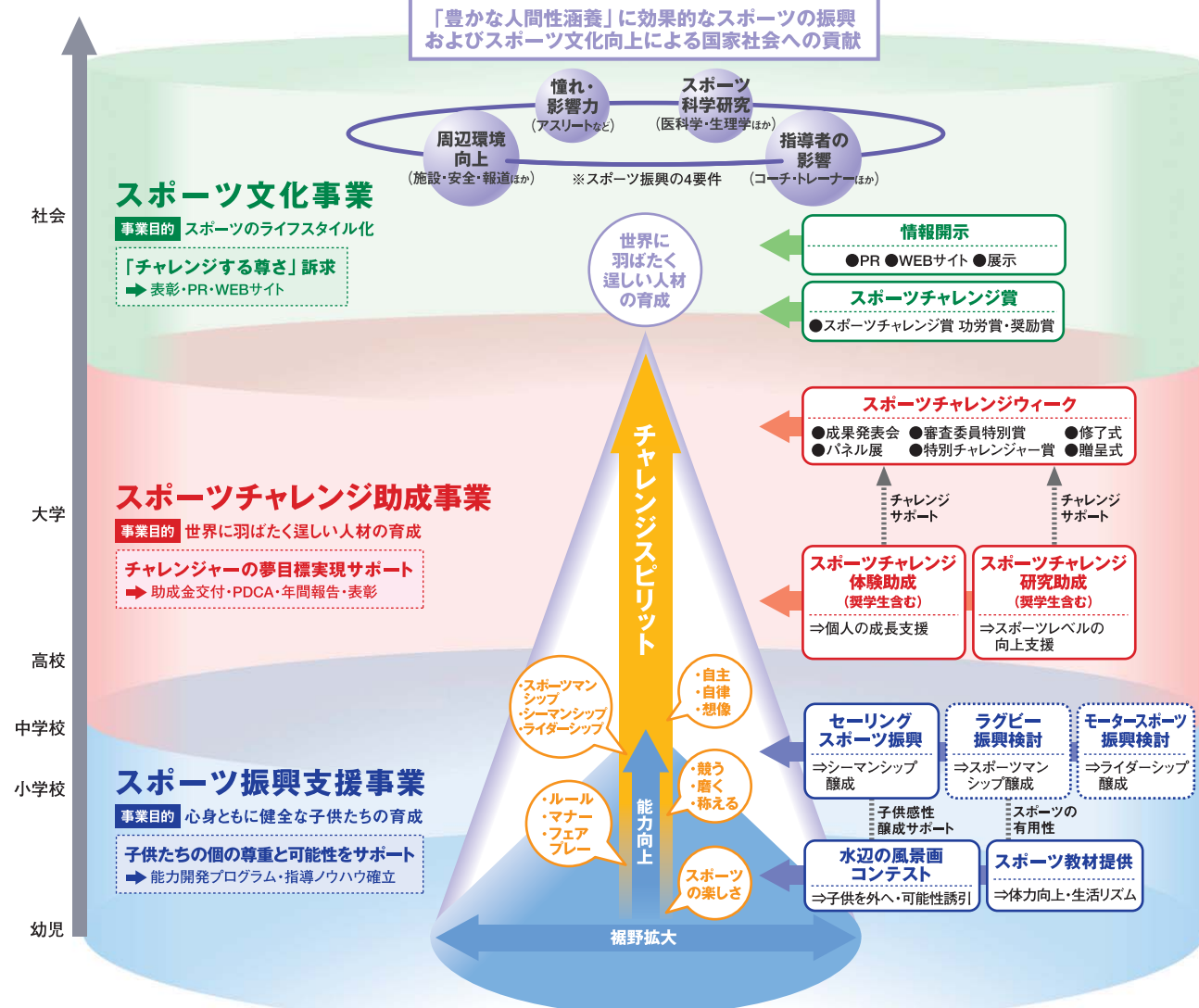
月	日	財団運営関連	事業関連		
			スポーツ振興支援事業	スポーツチャレンジ助成事業	スポーツ文化事業
※3月18日に内閣総理大臣より「公益財団法人」の認定を受け、新たに「公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団」として新しい年度（平成21年4月～平成22年3月）をスタートしました					
4	1		「スポーツ教材提供」募集 (4/1～5/31)	【第3期生活動支援 ①】 ・四半期報告 ・アドバイス ・メールマガジン ・応援訪問 & 取材 ・WEBサイト掲載	適宜リリース・インフォメーション・WEBサイト
	19		葉山スクール新年度開始		
	27	第一回理事会			
5	14	第一回評議員会 評議員選定委員会			
	6	4			
1			「水辺の風景画コンテスト」募集 (7/1～9/30)		
7	3			【中間報告(体験)①】 ・体験チャレンジャー	
	17			【中間報告(体験)②】 ・体験チャレンジャー	
		2	古橋広之進先生逝去		
8	5		葉山スクール合宿 野尻湖 (8/5～8/8)		
	28			【中間報告(体験)③】 ・体験チャレンジャー	
	9	1		スポーツチャレンジ助成 第4期生募集(9/1～11/20)	
10	15			【中間報告(研究)】 ・研究チャレンジャー	
	27	第二回理事会 評議員選定委員会		【第3期生活動支援 ②】 ・四半期報告・返答 ・メールマガジン ・応援訪問・アドバイス ・WEBサイト掲載	
	28		「水辺の風景画コンテスト」本選会		
11	10			第2回 スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 候補チャレンジ推薦受付	
12	10			第2回 スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 審査事務局会議	
1	25			第2回 スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 選考・受賞者決定	
	26				
2	23	第三回理事会			
3	22～26			第3回 スポーツチャレンジウィーク ・第3期生チャレンジ成果発表会 ・第4期生助成金贈呈式 ・第2回スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 表彰式	
	26～28		第17回 セーリングチャレンジ カップ イン 浜名湖		

2009年度(2009年4月～2010年3月)の全体報告

■ 年間スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
財団運営関連			(27) 第1回理事会 (14) 第1回評議員会 評議員選定委員会			(2) 古橋先生ご逝去			(27) 第2回理事会 評議員選定委員会				(23) 第3回理事会
事業関連	スポーツ振興支援事業		(19) 葉山スクール新年度開始 (1) 「スポーツ教材提供」募集 (31) 抽選・配布 (4) 「水辺の風景画コンテスト」募集			(1) 「水辺の風景画コンテスト」募集		(30) 「水辺の風景画コンテスト」募集	(28) 審査・入賞者決定				(26) (28) セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖
	スポーツチャレンジ助成事業				(3) (17) 中間報告会(体験)	(28) 中間報告会(体験)		(15) 中間報告会(研究)					(22) (26) スポーツチャレンジウィーク (成果発表会・修了式・贈呈式・表彰式)
	スポーツ文化事業						(1) 第4期生募集	(20) 論文審査	(10) 面接審査	(25) (26) 賞選考委員会			
		<適宜>リリース・インフォメーション・WEBサイト更新											

■ 財団事業概念図



活動テーマ

■ 「公益財団法人」認定後の運営

- ※社会から認められる財団を目指して
- ・健全な財団運営
- ・公益性と貢献性の為の事業充実

■ 事業の充実と情報発信力強化

スポーツ振興支援事業

- ①セーリングスポーツ振興のレベル向上
- ②ラグビー、モータースポーツ 振興着手
- ③裾野拡大事業の充実

スポーツチャレンジ助成事業

- ④チャレンジャーへのサポート強化
- ⑤ネットワーク構築（現役+OB）

スポーツ文化事業

- ⑥「スポーツチャレンジ賞」の浸透
- ⑦WEBサイトアクセス数の増加

活動の総括

■ 「公益財団法人」認定後の運営

- ・新体制で順調な船出をしました
- ・節約と経費見直しにより財政の効率化を図りました
- ・財団評議員の古橋さんがご逝去になりました

■ 事業の充実と情報発信力強化

スポーツ振興支援事業

- ①下記3点により、子供たちの成長を実感するとともに「ジュニアヨットスクール葉山」の模範スクール化に向けて一歩前進しました
 - ・指導レベルの向上（指導者育成含む）
 - ・保護者への方針浸透と参画意識向上
 - ・生徒の意欲向上（目標チャレンジ定着）
- ②セーリングスポーツ振興の成功事例をもとに、振興策を検討する為、要点整理への着手レベルに留まりました
- ③「スポーツ教材提供」には588件という多数の応募があり、事業が徐々に浸透しています。「水辺の風景画コンテスト」の応募はほぼ横這いに推移しました

スポーツチャレンジ助成事業

- ④通常の四半期報告、スポーツチャレンジウィークに加え、中間報告会を実施。チャレンジャーにとって、自身の目標達成度をチェック・報告することにより、先生方のアドバイスやチャレンジャー相互の刺激を受けるとともに、交流が目標達成の為のチャレンジ意欲を加速させました
- ⑤現役・OB・事務局・審査委員が自己管理と相互交流のための“チャレンジャーズ ネットワーキング システム”がほぼ完成。次年度5月より稼働予定です

スポーツ文化事業

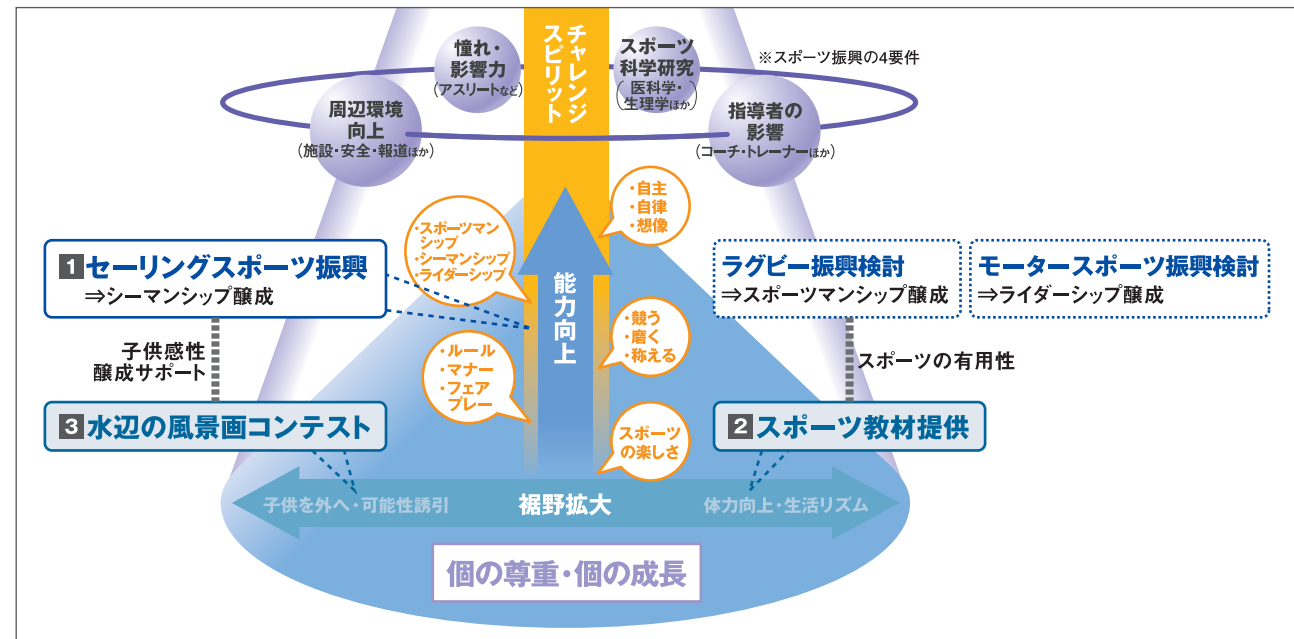
- ⑥コンセプトに相応しい功労賞、奨励賞を選考。受賞関係者や団体から高い評価をいただきました
- ⑦着実にアクセス数、ヒット数は着実な増加傾向にあり、更に情報発信力を高めたいと思います

2009年度(2009年4月～2010年3月)の個別事業総括

【スポーツ振興支援事業】

活動テーマ
①セーリングスポーツ振興のレベル向上 ●ジュニアヨットスクール葉山の模範スクール化（※本格的なセーリング振興の第一歩）
②ラグビー、モータースポーツ 振興に着手 ●文化的、科学的、教育的見地からの振興策検討に着手（※セーリング振興の成功策を手本とする）
③裾野拡大事業の充実 ●「スポーツ教材提供」による活用事例の全国への認知促進 ●「水辺の風景画コンテスト」でのイキイキ作品の増加

活動概要



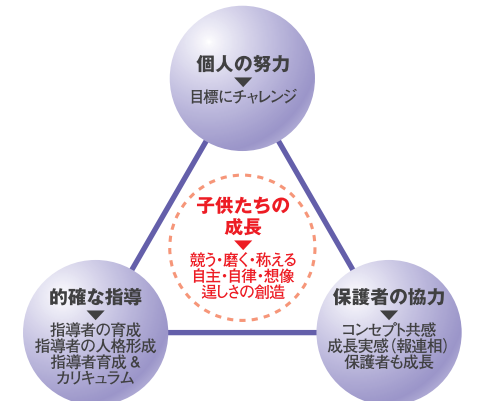
年間スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心身ともに健全な子供たちの育成 ▶能力向上・裾野拡大	1 セーリング振興	① 葉山スクール運営 ② 競技会開催支援											
	2 スポーツ教材提供	1 公募	30 提供先抽選・配布										教材提供先の活用事例収集とWebでの紹介
	3 水辺の風景画コンテスト	3/20 船の科学館にて展示	5		1 募集		30						審査・入賞者決定
		①9 葉山スクール新年度開始 前期目標確認／個別指導／体力測定・技能検定／後期目標確認／個別指導／体力測定・技能検定／目標設定 夏季合宿 マリーズベイセーリングクラブ視察 (NZL) セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖 (26) (28)											

活動報告

1 セーリングスポーツ振興のレベル向上 ▶活動実績編 参照

- ① ジュニアヨットスクール葉山の模範スクール化
- スクール生の成長実績作り
1. 個人の努力を促す為のしつこみを充実しました
① 目標チャレンジシート、セーリング日誌、通信簿が定着
② 年2回の体力測定、技能検定を実施しました
③ 合宿およびチャレンジカップなどのレース経験
2. 適確な指導のためのコーチングスタッフの充実と育成をしました
① 箱守校長（元オリンピック）による直接指導を開始
② スタッフの質と量の向上をはかりました
・スクール生13名 → 18名
・コーチ 7名 → 11名 ※トレーナー、管理栄養士資格取得者含む
③ マリーズベイセーリングクラブ（ニュージーランド）との交流を開始しました
・11月にコーチ2名を派遣、クラブ活動を視察。ウォーターワイズ（水辺体験）教育の取り組み検討
3. 保護者の協力と参画を促進しました
① 保護者会、練習観覧などによる子供の成長確認の機会を充実しました
② セーリング日誌、通信簿で子供たちの成長を確認してもらい、感想や意見などをいただきました
 - 運営管理体制の充実整備
1. 練習艇及び監視艇を補充しました（OP艇、レーザーラジアル級、監視用ゴムボート）
2. 新任を含むコーチ陣の役割明確化（通常指導に加え、安全・トレーニング・食育関連ほか）



- ② 第18回「セーリングチャレンジカップイン浜名湖」開催
- ・3月25日～3月28日、浜名湖にて全国16クラブ48名が参加
 - ・大会テーマは「1年間の練習成果の発揮と次年度の目標設定」
 - ・オリンピックの上野太郎選手と榮楽コーチが特別アドバイザーとして参加、直接指導も行いました
 - ・天候にも恵まれ様々な風の強さを体験でき、選手の満足度は高く新年度の励みとなりました

総括

- 今年度は、「模範スクールとして大きく前進した1年」でした。葉山スクールが全国スクールの模範となるべく取り組んできた、子供たち個々の「自主・自律・想像」を育む取り組みの成果が徐々に出てきました。例えば、体力や技能向上に加えて、生活態度がしっかりしてきたり、生活リズムが良くなったり、上級生が下級生を指導したりなど人間的な成長を実感しました
- また、保護者アンケートからは、指導方針への賛同と共に「もっと厳しく」などの意見をいただきました

2 スポーツ教材提供 ▶活動実績編 参照

- 4月15日～5月31日の期間に公募を実施。全国から588件の応募がありました
- 6月4日、岡崎日本体育協会専務理事による抽選。50提供先を決定、配布。活用事例をホームページで紹介しました

総括

- 文部科学省からボール競技を中心に体育強化の方向の学習指導要領が出され、この事業への関心も高く、応募件数が急増しました。活用については、指導者の方々の熱心な取り組みがうかがえました
- 今後の課題は、単に「教材を使いました」ではなく、「使用効果」を明らかにし、事例を情報開示することです

3 第21回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」実施 ▶活動実績編 参照

- 7月1日～9月30日の3ヶ月間の公募を実施。全都道府県より5,166作品が寄せられました
- 10月9日の予選会で約300点の入選作品を選出。その中から10月24日本選会にて入賞作品を決定しました
※ 文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞を各1作品、小学校高学年、低学年、幼児の3部門から各部門ごとに金賞2作品、銀賞3作品、銅賞3作品および特別賞7作品を決定

総括

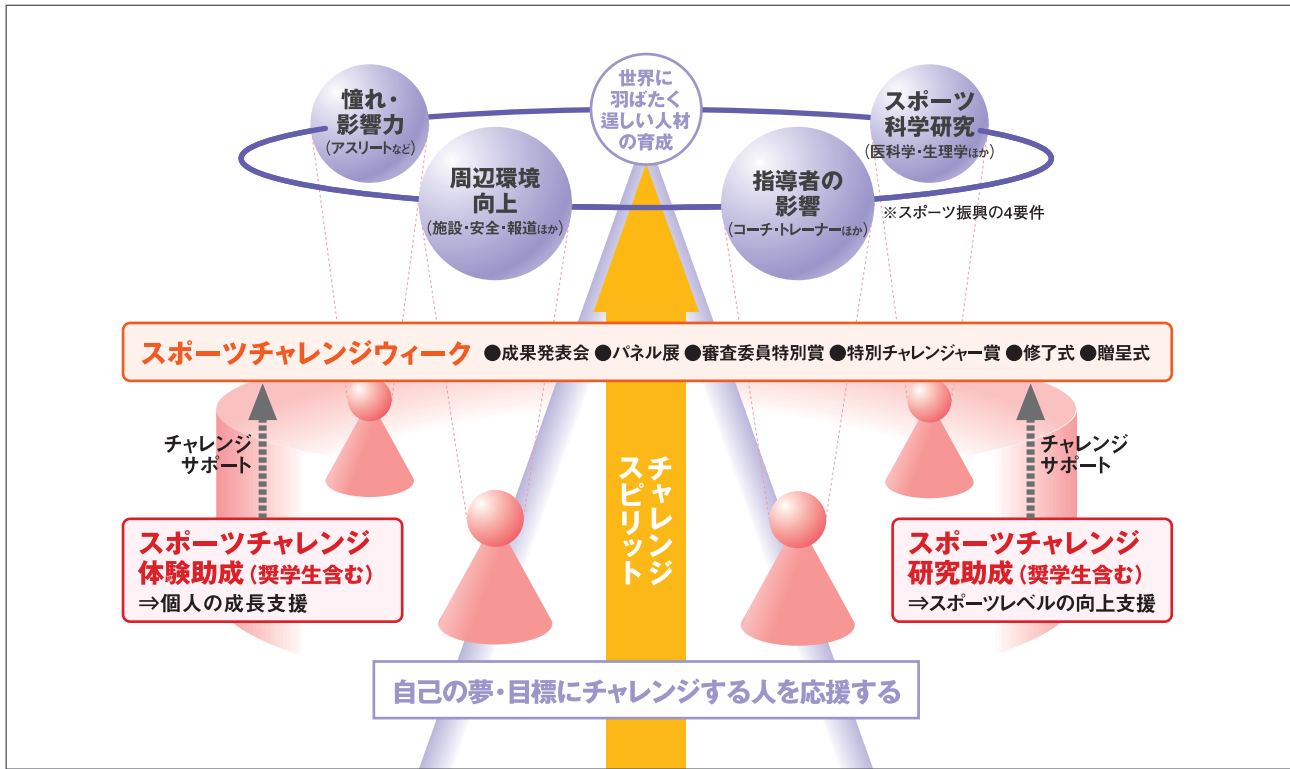
- 今回のコンテストの特徴は、全体に作品のレベルが向上したことです。例えば、幼児及び小学校低学年の作品に「イキイキとした元気な作品」が多かったこと。高学年の作品に「緻密な描写」が多かったことなどがあげられます
- 今後の課題として、「海への興味・関心」を抱かせると共に、「子供たちの感性の発露と可能性を伸ばす」為にも指導者や保護者の方々へのコンテストの意義を再度理解していただくためのメッセージを発信するよう努力します

【スポーツチャレンジ助成事業】

活動テーマ

- ④チャレンジャーへのサポート強化
 - チャレンジャーの目標達成および人間的成長の促進
- ⑤ネットワーク構築（現役＋OB）
 - チャレンジャー同士および審査委員・事務局とのコミュニケーション充実化

活動概要



年間スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世界に羽ばたく逞しい人材の育成 チャレンジスピリットの喚起	スポーツチャレンジウィーク									スポーツチャレンジウィーク開催 (22-26)			
	・スポーツチャレンジ体験助成				③⑬ 中間報告会(体験)	⑳ 中間報告会(体験)		⑮ 中間報告会(研究)		① 成果発表会			
	・スポーツチャレンジ研究助成									② 第3期生修了式			
	・国際スポーツ奨学金						① 募集	②⑩ 論文審査		③⑤⑥ 面接審査			

活動報告

1 第3期生チャレンジサポート

- 2009年4月～2010年3月までの年間計画提出と四半期報告を実施し、3ヶ月ごとに振り返りをしてもらうと同時に浅見審査委員長からの確かなアドバイスをを行いました
- 体験チャレンジャーを中心に事務局スタッフの応援訪問を実施。レポートをWEBサイトに「クローズアップレポート」として掲載しました

2 第3期生中間報告会の実施 ▶活動実績編 参照

- 体験チャレンジャーの報告会は活動にあわせて3回、研究チャレンジャーの報告会はまとめて1回実施しました。数名ずつが集まり審査委員の前で中間報告を実施。初めての試みでしたが、チャレンジャー、審査委員ともに好評で、中間で自分の活動を振り返ること、報告に対する意見をもらえることによる活動の確認、他チャレンジャーの活動から得る新たな発見など、良い刺激になったようで、中にはこれをきっかけに交流をするチャレンジャーもみられました

3 「第3回 スポーツチャレンジウィーク」開催 ▶活動実績編 参照

- 2010年3月22日～26日に静岡県ヤマハリゾート「つま恋」にてスポーツチャレンジウィークを開催しました
- 第3期生の年間チャレンジ成果発表会（一部第2期生の発表も）
 - ・各チャレンジャーが審査委員および他のチャレンジャーに対して、1年間の自身のチャレンジ成果を発表。目標に対する客観的成果と取り組みプロセスの成果を発表し、次なる新たな目標設定をしました
 - ・また、体験チャレンジャーの交流会では、オリンピックやパラリンピックに出場したチャレンジャーから大会のエピソードやオリンピック村の話など興味深い話があったり、各チャレンジャーが競技に使用の道具などを持ち寄りチャレンジを紹介したり、トレーニング方法などの質問があったりお互いに交流を深めていました
 - ・研究チャレンジャーの交流会では、各チャレンジャーの研究を紹介するパネル展形式で交流を深めました。お互いの研究の中に参考になる部分が多くあり、活発に質問や意見交換をしていました
 - 第3期生修了式および審査委員特別賞・特別チャレンジャー賞の表彰
 - ・長谷川理事長より第3期生に対して修了証を授与しました
 - ・年間チャレンジ成果発表の中から、世界レベルの優秀なチャレンジを表彰する審査委員特別賞の発表がありましたが、今年度は該当者がありませんでした。また、その賞に順ずるチャレンジに対して贈られる特別チャレンジャー賞には、体験チャレンジャーの中から「チーム・リバーフェイス」が、研究チャレンジャーの中から「浜松ホトニクス 星川さん」「金沢大学 増田さん」「東京大学 吉岡さん」が選ばれ、浅見審査委員長から表彰状と副賞が贈られました
 - 第4期生への助成金授与式（贈呈式）
 - ・長谷川理事長より第4期生への助成金の授与が行われ、新たな1年間のチャレンジがスタートしました
 - 「第2回スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」表彰式（※スポーツ文化事業にて紹介）

4 第4期生募集と助成対象者の決定 ▶活動実績編 参照

- 9月1日～11月20日の期間、平成22年度 第4期生の募集を行い、体験助成 46件、研究助成 84件、日本人奨学助成 6件、外国人奨学助成 14件（計150件）という多数の応募があり、平成22年1月下旬の面接、審査委員会にて第4期生を決定しました
- 事業活動の浸透と共に、コンセプトである「世界に羽ばたく逞しい人材の育成」の言葉に相応しいチャレンジ申請が増えており、年々チャレンジ目標レベルが上がっている傾向です

5 「チャレンジャーズ ネットワーキング システム」の構築

- よりチャレンジャー同志の交流を深めたり、審査委員からのコメントなどコミュニケーションの活発化を図り、チャレンジ意欲を喚起するべく「チャレンジャーズ ネットワーキング システム」を構築中。5月稼働開始予定

総括

- 今年度の事業成果はチャレンジャーの人間的成長です。その大きな要因は2点あります。
 - 1点目は、中間報告会の開催が非常に有効であったことです。チャレンジャーが年間チャレンジの中間で冷静に振り返り、報告し、意見をもらうことで、後半のチャレンジの質向上が図られたことです。
 - 2点目は、スポーツチャレンジウィークの充実です。「つま恋」という非日常の場所でゆったりした環境の中で、成果発表会、交流会などでの審査委員や他のチャレンジャーとのコミュニケーションにより、客観的に自分を見つめ直したり、視野が広がったりしたことです。
- とはいえ、こうした成長は普段の本人の努力があったればこそであり、今年度のチャレンジャーの努力は必ず実を結ぶものと思います。今後の活躍を大いに期待します

【スポーツ文化事業】

活動テーマ

- ⑥第2回「スポーツチャレンジ賞」の浸透
- 「縁の下の力持ち」が称えられる社会になるよう、賞に相応しい受賞者を選出し、その「チャレンジの尊さ」を伝えることで理解、共感者を増やす
- ⑦WEBサイトアクセス数の増加
- 財団活動の認知、共感、支持を獲得するため、アクセス数を上げるべく、情報の量と質の向上を図る

活動概要



年間スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「チャレンジする尊さ」の訴求 スポーツのライフスタイル化	イベント							スポーツチャレンジ賞案内 推薦募集	10	10	賞選考事務局会議 25 26 賞選考委員会		
	情報開示											スポーツチャレンジ ウィークにて表彰	26
		<適宜>リリース・インフォメーション・WEBサイト更新											

活動報告

1 第2回スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞 ▶活動実績編 参照

- ① 11月10日から1ヶ月間の推薦募集で、スポーツ関連団体や大学、メディア他から17名の候補推薦があり、その中から、選考委員会の審査の結果、満場一致で功労賞、奨励賞共に1名ずつを選出しました
- ② 「功労賞」には日本のスポーツ医・科学の発展の礎を築き、またアンチドーピングの推進役として長年貢献された塚越克己さんを、「奨励賞」にはアスレティックトレーナーとしてアテネをはじめオリンピックでの日本チームの活躍を陰で支え、また近年は活動の幅を広げ、地域や大学、クラブなどの競技スポーツ、健康スポーツの発展におけるトレーナーの重要性を訴えると共に、若手トレーナーの育成にも尽力されている増田雄一さんを表彰し、表彰メダル・副賞・記念品を贈呈しました

「ヤマハ発動機スポーツ振興財団 スポーツチャレンジ賞」の概要

- 【目 的】「夢・目標に向かってチャレンジする尊さ」を社会に訴求し、チャレンジスピリットの喚起、世界に羽ばたく逞しい新たなチャレンジャーの創出のために創設された表彰制度です
- 【対 象】本来高く評価されるに相応しい「縁の下で力持ち」的な存在のチャレンジを称え表彰するもので、現在のスポーツ振興の礎となった長年の貢献、功績に対するチャレンジ（人材）を表彰する「功労賞」と、一定期間に高い成果を上げ、今後更なる成長が期待されるチャレンジ（人材）を表彰する「奨励賞」があり、いずれも世界レベルのチャレンジやスポーツの発展につながるチャレンジを表彰するものです

2 WEBサイト ▶活動実績編 参照

- ① 各事業の充実と共にWEBサイトでの情報の質と量が向上し、アクセス数は着実に増加しました。特に今年度は「公益財団法人」認定に伴っての財団紹介関連、スポーツチャレンジ助成事業のチャレンジャー紹介、各種募集関連をはじめとしてアクセス数が増加しました

3 展示・教材

- ① 展示については、財団活動の理解促進を目的に、東京国際ポートショー、ラグジアス環境イベント、ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ内の財団事務所前にてパネル展示を実施しました
- ② 教材についてはセーリングスクール用テキスト&DVD販売し、テキスト206冊、DVD231枚を出荷しました

総 括

■「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」については、昨年度に続き、今年度の受賞者も賞コンセプトである「縁の下で力持ち」で且つスポーツの発展に寄与した、賞に相応しい方を選出・表彰いたしました。この表彰に関しては、推薦者や受賞者の関係の方々をはじめ各方面から賛同の声をいただいております。今後、社会に広く知られるよう情報発信したいと思います

■今年度は、情報発信力を高めようと、チャレンジャー関連情報のコンテンツの質を高めること、および募集情報の確実な伝達に留意しました。結果、アクセス数が着実に増加し、財団の認知向上につながりました。今後は、アクセス者にとって、更に使い勝手の良い役に立つサイトとなるよう心掛けてまいります

※なお、2009年3月18日に「公益財団法人」の認定をいち早く受けたことで、今年度に入り、他の公益法人から申請方法や事業内容の確認など多くの問い合わせがありました。その意味で、財団の認知が上がり、また、事業内容の理解が進んだものと思います

MEMO

〔第二部〕 活動実績編

スポーツ振興支援事業

スポーツチャレンジ助成事業

スポーツ文化事業

【スポーツ振興支援事業】

▶セーリングスポーツ振興

- セーリングスポーツ振興を促進する為に、ジュニアヨットスクール葉山を模範スクール化すべく、その第一歩として、「子供たちの成長」の為に生徒、指導者、保護者のスタンスを明確化しました

【心身ともに健全で逞しい子供たちの育成の考え方】
(セーリングスポーツを通じて育む自主・自律・想像)



▶第18回 セーリングチャレンジカップ イン 浜名湖

- レースが行われた26日～28日の3日間は天候に恵まれ、強風から順風、微風のオールラウンドのコンディションで、日頃の練習成果を発揮できたと思います。またこの大会がシーズンインということもあり、今回はレース数を増やし試合感覚を戻し、より実践に近い技術向上を図るようにしました。次につながる良い経験ができたと思います
- 25日の開会式後の講演会では、海洋冒険家・今給黎教子氏を招き、「目標を持ってチャレンジする大切さ」をテーマに講演をいただき、大会恒例の勉強会では、26日にルール講座を、27日は榮楽コーチ、上野選手(北京五輪代表)がレースビデオを見ながら技術指導を行い、参加者は良い勉強会になりました
- 新しい試みとして、選手たちに大会期間中の個人目標を記載させ、より課題を明確化。選手と指導者の試合後のコミュニケーションおよび次年度の取り組みに役立ててもらいました



▲相良高校ヨット部細野主将の選手宣誓



▲レース後の勉強会で指導する講師(上:上野選手、下:榮楽コーチ)

■開催概要

開催日:2010年3月25・26・27・28日 開催場所:浜名湖三ヶ日青年の家

- ◆共同主催/公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) NPO 静岡セーリング連盟
- ◆参加艇/ミニホッパー級:11艇、シーホッパーSR級:23艇、FJ級:7艇
- ◆参加人数/16クラブ:48名(初参加は大島海洋国際高校、クローバーリーフクラブ)
- ◆位置づけ/ジュニア～ユース世代におけるセーリングスポーツの最高峰の大会
- ◆目的/一年間培った練習成果を発揮し自身の成長を確認すると共に次年度の目標を設定する



▲シーホッパーSR級



▲シーホッパーSR級 風上マーク付近での接戦



▲FJ級 女子の接戦

第18回YMFSセーリング・チャレンジカップIN浜名湖 2010年3月25日～28日			
今日の大会で身につけた目標		今日の大会で身につけた課題	
25日	去年の反省を思い出す。	ボートに乗り込む時に、自分のポジションを確認する。	
26日	目立つ。ボートに乗り込む時に、自分のポジションを確認する。	風が強い時に、自分のポジションを確認する。	
27日	スタートで、自分のポジションを確認する。	風が強い時に、自分のポジションを確認する。	
28日	優勝する。	優勝する。	

▲参加選手の大会期間中の目標と今後の課題



▲榮楽コーチの直接指導



▲表彰式後の記念撮影

■各クラスレース結果

●大会期間:2010年3月26日(金)～28日(日) ●開催場所:静岡県三ヶ日青年の家
●クラス:ミニホッパー級 ●大会参加艇数:11艇 ●成立レース数:7レース ●カットレース数:1レース

	選手名	セール No.	クラブ名	学年	性別	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			第7レース			総計		
						着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点
1	天野 大志	6583	山中湖中学校ヨット部	中3	男	3	3	3	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	4	4	4	3	3	3	11	1	
2	千田 春奈	1	室蘭セーリング協会	中1	女	2	2	2	3	3	3	1	1	1	4	4	4	2	2	2	2	2	2	8	8	8	14	2	
3	福岡 寛太	6505	山中湖中学校ヨット部	中1	男	1	1	1	2	2	2	6	6	6	2	2	2	5	5	5	1	1	1	4	4	4	15	3	
4	山本 和哉	6143	クロバーリーフクラブ	小6	男	6	6	6	10	10	10	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7	7	26	4		
5	小屋 英美里	5893	YMF SJジュニア業山	小5	女	4	4	4	5	5	5	3	3	3	5	5	5	6	6	6	5	5	5	6	6	6	28	5	
6	花木 一誠	6163	クロバーリーフクラブ	小6	男	7	7	7	6	6	6	9	9	9	6	6	6	4	4	4	7	7	7	2	2	2	32	6	
7	田村 昂士	6555	高知県セーリング連盟	中1	男	11	11	11	8	8	8	10	10	10	7	7	7	8	8	8	6	6	6	1	1	1	40	7	
8	畑 幹太	5536	山中湖中学校ヨット部	中2	男	5	5	5	7	7	7	5	5	5	DNF	DNF	12	7	7	7	10	10	10	DNF	DNF	12	46	8	
9	久保田 景悠	3	YMF SJジュニア業山	小5	男	9	9	9	4	4	4	7	7	7	DNF	DNF	12	10	10	10	8	8	8	10	10	10	48	9	
10	楠瀬 和旺	6556	高知県セーリング連盟	中1	男	8	8	8	9	9	9	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	51	10	
11	近藤 優介	6554	高知県セーリング連盟	中2	男	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	DNS	DNS	12	DNS	DNS	12	11	11	11	5	5	5	60	11

【第1レース】風向300度、風速6～7m/s 【第2レース】風向300度、風速3m/s 【第3レース】風向300度、風速8～9m/s 【第4レース】風向300度、風速6～7m/s 【第5レース】風向280度、風速8m/s
【第6レース】風向340度、風速3m/s 【第7レース】風向30度、風速1～3m/s

●クラス:シーホッパーSR級 ●大会参加艇数:23艇 ●成立レース数:10レース ●カットレース数:1レース

	選手名	クラブ名	学年	性別	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			第7レース			第8レース			第9レース			第10レース			総計		
					着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	総合計	順位		
1	杉山 航一郎	清水ヨットスポーツ少年団	中2	男	3	3	3	2	2	2	1	1	1	4	4	4	3	3	3	3	3	3	1	1	1	5	5	5	1	1	1	1	1	1	19	1	
2	佐藤 駿	山形県ジュニアヨットクラブ	高2	男	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	5	5	5	2	2	2	6	6	3	3	3	1	1	5	1	1	6	6	2	2	2	24	2
3	栗原 悠介	神奈川県ユースヨットクラブ	高2	男	2	2	2	7	7	7	7	6	6	6	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	4	4	4	3	3	3	3	3	3	24	3	
4	岡崎 一輝	YMF SJジュニア業山	高1	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	2	6	6	6	34	4
5	加藤 大地	YMF SJジュニア業山	中3	男	5	5	5	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	7	7	7	2	2	2	4	4	4	3	3	3	15	15	15	16	16	16	42	5
6	小岩井 敏也	YMF SJジュニア業山	中3	男	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	8	8	8	16	14	14	4	4	4	6	6	6	6	6	6	8	8	8	13	13	13	62	6
7	光村 一帆	清水ヨットスポーツ少年団	中2	男	8	8	8	6	6	6	6	8	8	8	6	6	6	8	8	8	7	7	7	13	13	13	7	7	7	11	11	11	4	4	4	65	7
8	南村 浩平	山中湖中学校ヨット部	中3	男	6	6	6	8	8	8	8	7	7	7	9	9	9	6	6	6	11	11	11	11	11	11	8	8	8	4	4	4	11	11	11	70	8
9	佐藤 雄司	都立大島海洋国際高校セーリング	高2	男	12	12	12	10	10	10	10	10	10	10	7	7	7	9	OCS	24	8	8	8	7	7	7	9	9	9	13	13	13	8	8	8	84	9
10	吉川 弘樹	高知県セーリング連盟	中3	男	11	11	11	12	12	12	12	9	9	9	11	11	11	12	10	10	14	14	14	8	8	8	14	14	14	12	12	12	10	10	10	97	10
11	兼子 えみ	清水ヨットスポーツ少年団	高1	女	10	10	10	15	15	15	12	12	12	12	12	12	10	9	9	12	12	12	14	14	14	10	10	10	14	14	14	9	9	9	102	11	
12	佐久間 海仁	いわきジュニアヨットクラブ	中3	男	9	9	9	13	13	13	13	11	11	11	10	10	10	19	16	16	10	10	10	12	12	12	15	15	15	20	20	20	18	18	18	114	12
13	鈴木 一帆	YSCS	中2	男	15	15	15	DNC	DNC	24	16	16	16	DNF	DNF	24	4	4	4	15	15	15	16	16	16	12	12	12	9	9	9	5	5	5	116	13	
14	佐藤 仁一	いわき海星高校ヨット部	高2	男	16	16	16	DNC	DNC	24	13	13	13	13	13	13	14	12	12	16	16	16	9	9	9	17	17	17	10	10	10	17	17	17	123	14	
15	戸井 瀬亜	清水ヨットスポーツ少年団	中2	女	17	17	17	DNF	DNF	24	14	14	14	DNF	DNF	24	13	11	11	18	18	18	18	18	18	16	16	16	5	5	5	7	7	7	130	15	
16	佐々木 学	都立大島海洋国際高校セーリング	高1	男	13	13	13	14	14	14	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	17	15	15	17	17	17	15	15	15	13	13	13	7	7	7	12	12	12	130	16	
17	近藤 かなな	室蘭セーリング協会	中3	女	14	14	14	9	9	9	9	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	11	OCS	24	13	13	13	10	10	10	11	11	11	18	18	18	15	15	15	138	17
18	門馬 和也	いわき海星高校ヨット部	高2	男	20	20	20	11	11	11	11	15	15	15	DNF	DNF	24	23	20	20	9	9	9	DNS	DNS	24	DNS	DNS	24	DNF	DNF	24	19	19	19	166	18
19	野々村 海人	清水ヨットスポーツ少年団	中2	男	21	21	21	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	15	13	13	20	20	20	17	17	17	19	19	19	16	16	16	14	14	14	168	19	
20	金成 拓也	いわきジュニアヨットクラブ	中3	男	18	18	18	DNC	DNC	24	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	20	17	17	22	22	22	19	19	19	20	20	20	17	17	17	23	23	23	184	20	
21	鈴木 貴大	いわき海星高校ヨット部	高2	男	19	19	19	DNC	DNC	24	DNF	DNF	24	DNS	DNS	24	18	OCS	24	19	19	19	DNF	DNF	24	18	18	18	19	19	19	21	21	21	192	21	
22	石川 明徳	いわき海星高校ヨット部	高1	男	DNF	DNF	24	DNC	DNC	24	DNC	DNC	24	DNF	DNF	24	22	19	19	21	21	21	DNF	DNF	24	21	21	21	DNF	DNF	24	20	20	20	201	22	
23	長谷部 直己	いわき海星高校ヨット部	高1	男	DNF	DNF	24	DNC	DNC	24	DNC	DNC	24	DNF	DNF	24	21	18	18	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	DNF	DNF	24	21	21	21	22	22	22	205	23	

【第1レース】風向300度、風速6～7m/s 【第2レース】風向300度、風速6～7m/s 【第3レース】風向300度、風速9～10m/s 【第4レース】風向300度、風速8～13m/s 【第5レース】風向300度、風速3m/s
【第6レース】風向300度、風速8～9m/s 【第7レース】風向300度、風速6～7m/s 【第8レース】風向280度、風速8m/s 【第9レース】風向340度、風速3m/s 【第10レース】風向170度、風速2m/s

●クラス:FJ級 ●大会参加艇数:11艇 ●成立レース数:7レース ●カットレース数:11レース

選手名	学校名	学年	性別	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			第7レース			第8レース			第9レース			第10レース			総計		
				着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	総合計	順位		
1 細野・山西	静岡県立相良高等学校	高2／高1	男／男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	3	3	3	2	2	2	1	1	1	2	2	2	13	1	
2 佐々木・藤原	静岡県立三ヶ日高等学校	高2／高2	女／男	2	2	2	2	DSQ	7	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	17	2
3 大谷・南業	福島県立いわき海星高等学校	高1／高1	男／男	4	4	4	DNF	DNF	7	4	4	4	2	2	2	1	1	1	4	4	4	6	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	33	3	
4 森・鈴木	静岡県立相良高等学校	高1／高1	男／男	5	5	5	3	2	2	2	2	2	4	4	4	5	5	5	3	3	3	4	4	4	3	3	3	5	5	5	6	6	6	33	4	
5 菊池・今村	静岡県立相良高等学校	高1／高1	女／女	3	3	3	4	3	3	5	5	5	DNF	DNF	7	4	4	4	6	6	6	2	2	2	6	6	6	3	3	3	3	3	3	35	5	
6 町田・澤田	都立大島海洋国際高等学校	高1／高1	女／女	DNF	DNF	7	DNF	DNF	7	DNS	DNS	7	DNF	DNF	7	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	5	5	5	53	6	

【第1レース】風向300度、風速6～7m/s 【第2レース】風向300度、風速6～7m/s 【第3レース】風向300度、風速9～10m/s 【第4レース】風向300度、風速8～13

■受賞作品と表彰式

文部科学大臣賞	「海の中のぼくたち」
吉岡 礁南(よしおかしょうなん) 高知県香南市立野市東小学校 3年(9歳)	
	
■本人の感想:「じょうずにかけました。よくがんばった」	
 3年生全員の前で 教育長から賞状の授与	 下肢障がいをもつ児童も同じ敷地内 にある幼稚園から一緒に活動。 それが思いやりの心を育むと校長先生

環境大臣賞	「かめとわたし」
國見 朋花(くにみ ほんか) 神奈川県海老名市立杉本小学校 2年(8歳)	
	
■本人の感想:「かめのがんばっているところをかきました」	
 七澤校長より 環境大臣賞授与	 前列左より 銀賞 東君、 大臣賞 國見さん、入選 荻野さん

国土交通大臣賞	「復活!上対馬おっどん祭り舟グロー大会」
梅野 智喜(うめの ともき) 長崎県対馬市立須奈小学校 5年(10歳)	
	
■本人の感想:「6年ぶりに復活した祭りでの舟グロー大会で、こぎ手とあやしが一体になって舟を進める力強さと祭り復活の喜びを描きました」	
 全校生徒62名の前で 国土交通省長崎空港・ 港湾所長が表彰 「こんな大きな賞をもらってうれしい」	 「復活した舟グロー大会を家族で 見に行って楽しかった」 (お祭りを復活させた比田勝港は その昔朝鮮通信使が入港した)

農林水産大臣賞	「じいちゃんのいけす」
河野 優花(かわの ゆうか) 山口県周南市立秋月小学校 3年(9歳)	
	
■本人の感想:「じいちゃんのいけすはヒラマサがいっぱいます。わたし、おさしみ大好き!!」	
 校長先生から賞状を授与 終業式には全校生の前で 授与式	 「こんな大きな賞は初めて。 おじいちゃんやお父さんお母さんが 喜んでくれてうれしい」とコメント

■入賞作品

	小学校高学年	小学校低学年	幼 児
金 賞	 「大漁だー!!」 梅村 玲花 平塚市 なでしこ小学校 6年  「秋の日ざしに 「千だこ」舞う」 高尾 美希 岡山市 朝日学園 朝日塾小学校 6年	 「巨大インダイ」 小林 広大 入間郡 越生町 梅園小学校 3年  「かぞくのたのしい海」 三浦 すみれ 海老名市 上星小学校 2年	 「ちょうちんあんこうと およぎたい」 山形 果凜 海老名市 海老名みなみ幼稚園 (4歳)  「おおきなさかな」 金井 菜々 佐世保市 三浦保育園(5歳)
銀 賞	  	  	  
銅 賞	  	  	  

■特別賞

 日本舟艇工業会会長賞 「みんなで楽しく海あそび」 川部 大起 岡山市 岡山大学教育学部 附属小学校 2年	 ジャパングームフィッシュ協会会長賞 「やっつれたよ」 沖田 紬 神戸市 小東山小学校 2年	 日本マリナー・ビーチ協会会長賞 「海水浴は楽しいな」 新居 里紗 阿波市 久勝小学校 4年	 日本ユネスコ協会連盟賞 「漁港」 田川 俊輔 福山市 福山暁の星小学校 3年	 ヤマハ発動機賞 「ハマグリとったよ」 清 彩夏 藤沢市 小糸小学校 4年
---	--	--	---	---

▶スポーツ教材提供

- 6月4日、岸記念体育館にて日本体育協会・岡崎専務理事の抽選により提供先を決定しました
- 今回は応募総数 588件 (昨年191件) という昨年の3倍の応募がありましたが、要因は以下の3点と考えます
 - ① 4月に文部科学省から新学習指導要領が出され、学校が体育に前向きに取り組み始めた
 - ② 各市町村の教育委員会から学校への情報伝達が円滑に行われた
 - ③ この事業も3回目をむかえ徐々に浸透し始めた
- 提供先からの活用事例では、スポーツ自体への有効活用のほかに「モノを大切にする」「積極的に取り組む」など精神的な成長にも結びついています

■ スポーツ教材の応募団体について

応募団体については小学校50％と過半数を占め、この他に中学校18％、地域スポーツクラブやスクール、少年団15％など、さまざまな団体からの応募がありました

● 応募状況

	小学校	中学校	高等学校	幼稚園・保育園・ 養護学校	総合型地域スポーツクラブ ・スポーツ少年団など	その他	合計
サッカーボール (5号球)	1	40	10	8	8	5	72
サッカーボール (4号球)	93	0	0	6	41	4	144
ラグビーボール (一般用)	0	0	2	0	3	1	6
ラグビーボール (ジュニア用)	28	1	0	12	7	2	50
システムストップウォッチ (プリンター付き)	164	65	7	11	28	21	296
万歩計	5	2	1	7	4	1	20
合 計	291	108	20	44	91	34	588

■ スポーツ教材提供先

● サッカーボール公式球&練習球 (5号球) 10セット



種別	団体名	都道府県	導入目的
中学校	潮来市立牛堀中学校	茨城県	授業及び部活動
協会	社団法人徳島県サッカー協会	徳島県	トレーニングと試合
中学校	鎌倉市立深沢中学校	神奈川県	ボールの大切さを実感
中学校	東神楽町立東神楽中学校	北海道	部活の練習や試合球
団体	NPO法人こうなんスポーツクラブ	高知県	サッカースクール
団体	NPO法人つけちスポーツクラブ	岐阜県	地域コミュニティの再生
中学校	江津市立江津中学校	鳥根県	部活動
中学校	京田辺市立培良中学校	京都府	練習の効率化と基礎の定着
中学校	高槻市立冠中学校	大阪府	より充実した練習のため
支援学校	埼玉県立所沢特別支援学校	埼玉県	大会決勝戦にて使用

● サッカーボール練習球セット (4号球) 10セット



種別	団体名	都道府県	導入目的
小学校	立山町立立山小学校	富山県	体育授業および自由遊び
協会	青森県サッカー協会 上北下北地区4種委員会	青森県	青少年の健全育成と体力向上
小学校	瀬戸内町立須子茂小学校	鹿児島県	サッカー学習の充実
少年団	やなぎスポーツ少年団	山形県	スポーツ好きな青少年育成
団体	有田・保田少年サッカークラブ	和歌山県	スポーツの楽しさと心身の育成
団体	特定非営利活動法人スポーツクラブ ホワイエ上石神井	東京都	住民の健康促進とフットサルの普及
小学校	筑西市立河間小学校	茨城県	ボール遊びによる運動量増加
小学校	毛呂山町立毛呂山小学校	埼玉県	児童の健康体力の育成
小学校	葉山町立上山口小学校	神奈川県	体育授業、クラブ活動
少年団	新得サッカースポーツ少年団	北海道	健全な心身の発育発達促進

■ スポーツ教材提供先

● ラグビーボール公式球 (一般用) 5セット



種別	団体名	都道府県	導入目的
高等学校	湧別高等学校	北海道	部活動の充実
協会	ラグビーフットボール協会	高知県	合宿やジュニアラグビーの練習
高等学校	法政大学中学高等学校	東京都	他者交流の実践と人格形成
団体	鶴来ジュニアラグビースクール	石川県	町のラグビー普及活動
団体	TRCジュニアスクール	奈良県	試合・練習に活用

● ラグビーボール (ジュニア用) 5セット



種別	団体名	都道府県	導入目的
小学校	北島北小学校	徳島県	タグラグビー
小学校	多摩市立南鶴牧小学校	東京都	体力・運動能力の向上
小学校	川崎町立本砂金小学校	宮城県	体力向上とラグビー技術向上
幼稚園	忍野幼稚園	山梨県	変化のある運動遊び
団体	前栽レインボーズ	奈良県	タグラグビーの練習

● システムストップウォッチ (プリンター付き) 15セット



種別	団体名	都道府県	導入目的
小学校	北安曇郡白馬村立白馬北小学校	長野県	地域特有スポーツでの体力づくり
小学校	横浜市立山王台小学校	神奈川県	体育スポーツテスト
小学校	大和郡山市立片桐西小学校	奈良県	マラソン大会
中学校	恵庭市立恵明中学校	北海道	授業、部活動、体育祭
小学校	有珠郡壮瞥町立壮瞥小学校	北海道	学校行事、クラブ活動
団体	藍南陸上クラブ	徳島県	体力や技能の向上
少年団	猿払村陸上少年団	北海道	より高い目標を目指す
小学校	土庄町立湊崎小学校	香川県	持久走大会
中学校	真庭市立湯原中学校	岡山県	効率的な授業の運営
団体	苅田RC	福岡県	陸上競技練習、大会
中学校	延岡市立三川内中学校	宮崎県	体育活動への活用
団体	マナーキッズ・ジュニア 親子チャレンジプロジェクトテニスクラブ	静岡県	基本的なマナー・ スポーツマンシップを身につける
小学校	西尾市立ハツ面小学校	愛知県	指導内容の充実
教育委員会	佐那河内村教育委員会	徳島県	個々の目標設定
教育委員会	西米良村教育委員会	宮崎県	メラリンピック、ロードレース大会

● 万歩計 5セット



種別	団体名	都道府県	導入目的
幼稚園	宝塚市立安倉幼稚園	兵庫県	園児の体力づくり
高等学校	横浜商業高等学校	神奈川県	健康増進についての学習
養護学校	新潟県立村上養護学校	新潟県	生徒の健康管理と意欲喚起
養護学校	中標津高等養護学校	北海道	健康の保持・増進
支援学校	埼玉県立本庄特別支援学校	埼玉県	目標の明確化と運動量の確保

【スポーツチャレンジ助成事業】

▶ 第3期生中間報告会

■ 「スポーツ教材提供」活用事例

NPO法人こうなんスポーツクラブ [高知県]

導入機器:サッカーボール公式球&練習球(5号球)

導入目的:サッカースクール

- ・新しいボールのおかげで、子供たちのモチベーションが上がり、「ボールに触りたい! 蹴りたい!」という思いからボールに触れる時間が増え、技術の向上へと自然とつながった
- ・この助成を通じて子供たちがボールや用具を大切にしなければならないという気持ちになった



湧別高等学校 ラグビー部 [北海道]

導入機器:ラグビーボール公式球(一般用)

導入目的:部活動の充実

- ・教材をいただいたことに生徒も喜び、感謝する気持ちも持つようになった
- ・また、「ヤマハ」からいただいたということで、ヤマハの選手、トップリーグの選手に親近感がわいたようだ
- ・毎日部活動に一生懸命取り組み、自分たちに足りないものを補うような練習を行うようになった



北安曇郡白馬村立白馬北小学校 [長野県]

導入機器:システムストップウォッチ(プリンター付き)

導入目的:地域特有スポーツでの体力づくり

- ・記録を表にして昇降口に設置したことにより、毎日取り組む児童が増えた
- ・授業以外の休み時間でも走る児童が現れ、大幅に記録が伸びた児童もいた。体育集会で、タイムを知らせてあげると、記録を伸ばそうと意識して取り組んだため、例年よりも、ロードレース大会で好タイムを出し、喜ぶ姿も見られた
- ・児童にとっていい励みになった



宝塚市立安倉幼稚園 [兵庫県]

導入機器:万歩計

導入目的:園児の体力づくり

- ・使用した幼児だけでなく、教師にとっても遊びを見直す機会になった
- ・万歩計10個いただいたことで、同時に同じ状況の中で計ることができた
- ・今後も教材を活用し、データ化・分析したいと考えている



■ 第3期生中間報告会 [体験チャレンジャー 7月3日]

- 今回のチャレンジャーは2年目の助成対象者が多く、1年目を締めくくる2009年3月の昨年度の成果発表会でも成長を見ることができたが、2年目チャレンジの今回の中間報告では、目標達成に向けて、前年度の経験を活かし、自身の強い意志と計画をもとに着実に歩みを進めており、さらに一回り大きく成長した様子がうかがえた
- その2年目チャレンジャーのしっかりした取り組み姿勢に1年目チャレンジャーも良い刺激を受けた様子
- 今回の中間報告&懇談会は初めての試みであったが、年間目標達成に向けての進捗振り返りの良いきっかけになったこと、皆に話すことによって悩み事などのストレス解消になったり、先生方からの確なアドバイスが受けられたこと、他チャレンジャーの意気込みや取り組み姿勢が刺激になったことなど、大変有意義な会となりました

開催日:2009年7月3日(金) 10:30 ~ 14:30

開催場所:丸の内マイプラザ 15階

- 【チャレンジャー出席者】 石倉恵介さん(トライアスロン)
小嶋智子さん(チアリーディング)
原田窓香さん(リュージュ)
近藤圭介さん(スケルトン)
山口真理恵さん(女子ラグビー)
- 【審査委員ほか出席者】 長谷川理事長、浅見先生、西田先生、
ヨーコゼッターランドさん、村田亘、岸川



▲小嶋さん
(チアリーディング)

▲ヨーコ
ゼッターランドさん
(審査委員)

▲村田さん
(審査委員)

▲原田さん
(リュージュ)



▲今年度前半のチャレンジを報告する原田チャレンジャー(リュージュ) 山口チャレンジャー(女子ラグビー)

▲長谷川理事長の質問に答える近藤チャレンジャー(スケルトン)

■ 第3期生中間報告会 [体験チャレンジャー 7月17日]

- 今回のチャレンジャー報告は三者三様のチャレンジで、課題や悩みなどでの共通点は少なかったが、チャレンジャーにとってはその分、報告内容や先生方のアドバイスなどが新鮮で、実になる部分が多かったように思われました。チャレンジャーにとっては、気持ちも新たに目標達成に向けて、スムーズに後半戦に入ることができたと思われます

開催日:2009年7月17日(金) 10:30~13:30

開催場所:丸の内マイプラザ 15階

- 【チャレンジャー出席者】 太田麻衣子さん(トライアスロン)
清水聖志人さん(レスリング)
桜井義久さん(奨学生・研究)
- 【審査委員ほか出席者】 長谷川理事長、浅見先生、西田先生、
村田亘、岸川ほか



▲長谷川理事長のアドバイスを聞く清水さん

▲審査委員の浅見先生や西田先生のアドバイスに耳を傾ける桜井さん、太田さん



▲中間報告&懇談会の模様

▶ 第3回 スポーツチャレンジウィーク

■ 第3期生中間報告会 [体験チャレンジャー 8月28日]

- 今回は3人の女性チャレンジャーが中間報告。好川さんは、8月にチャレンジのピークを迎え、そのチャレンジの結果と成果に加え、今後のチャレンジ目標について報告。黒須さんは、6月7月に大きな大会に出場し、その結果と今後の課題を報告。中野さんは、自己の競技チャレンジに加え、博士課程の研究チャレンジも紹介
- チャレンジの進捗スピードはそれぞれ異なるが、いずれもチャレンジ分析が良くできており、課題も明確。今後のチャレンジに大きな期待を抱かせました

開催日:2009年8月28日(金) 10:30~15:00

開催場所:丸の内マイプラザ 15階

【チャレンジャー出席者】 好川菜々さん(ボクシング)

黒須成美さん(近代五種)

中野美沙さん(やり投げ)

【審査委員ほか出席者】 長谷川理事長、浅見先生、西田先生、

ヨーコゼッターランドさん、村田亘さん



▲村田さん



▲中野さん
(やり投げ)



▲長谷川理事長



▲浅見先生



▲ゼッターランドさん



▲好川さん
(ボクシング)



▲黒須さん
(近代五種)



▲西田先生

■ 第3期生中間報告会 [研究チャレンジャー 10月15日]

- 出席チャレンジャーの感想 : 振り返りの良い機会であり、取り組み進捗をまとめたこと自体に意義があった。また、様々な視点から話を聞くことができ、新鮮な驚きと刺激になりました
- 事務局の感想 : 新しい発想のきっかけや刺激が得られる。また、若手研究者はプレゼン能力向上にもつながると思いました。今回の出席者は未来に向けて可能性とノビシロを持った発展途上研究者で、今後の活躍に期待が持てました

開催日:10月15日(木) 10:30 ~ 15:00

開催場所:丸の内マイプラザ 15階

【チャレンジャー出席者】 星川さん、太田さん、増田さん、

永見さん、林さん、吉岡さん

【審査委員ほか出席者】 長谷川理事長、浅見先生、

綿貫審査委員、事務局



▲星川さん
(浜松ホトニクス)



▲太田さん
(JISS)



▲増田さん
(金沢大学)



▲永見さん
(早稲田大学)



▲林さん
(九州大学)



▲綿貫審査委員

■ 第3回 スポーツチャレンジウィーク2010開催

開催日:3月22日(月) ~ 26日(金) 開催場所:ヤマハリゾートつま恋(静岡県掛川市)

【内 容】 第3期生チャレンジャーは1年間のチャレンジ成果の発表を通じて、お互いのチャレンジを称えあいました

第4期生チャレンジャーは第3期生の発表や交流会を通じて次年度のチャレンジ意欲を高めました

「縁の下の力持ち」としてスポーツ界の発展に貢献した人に贈る「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」の表彰が行われ、受賞者の功績を称えました

【日 程】 3月22・23日 体験チャレンジャー成果発表会 & 交流会

3月24・25日 研究チャレンジャー成果発表会 & 交流会

3月26日 チャレンジャー第3期生修了式

チャレンジャー第4期生助成金贈呈式

「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」表彰式 & 懇親会

■ 体験チャレンジャーの成果発表&交流会 [3月22日・23日 つま恋]

- 体験チャレンジャーの成果発表は2日間で21名。初日の発表者は硬さが見られたものの、交流会後の2日目は硬さもほぐれ、質疑応答も活発に行われました
- 交流会(22日夕食後)では各チャレンジャーが使用している道具などを披露、チャレンジ内容がより伝わりました



▲3月22日、各チャレンジャーの1年間のチャレンジの集大成である年間成果発表会開始。約20分間の発表と質疑応答。皆、落ち着いて解りやすい発表でした



▲海外で活躍中のチャレンジャーはVTR発表



▲浅見審査委員長はじめ審査委員から労いの言葉と鋭い質問と激励と



▲交流会(22日夜)ではバンクーバーオリンピック女子リュージュに出場した原田選手がオリンピック村の様子など裏話を紹介。普段聞けない話にフムフム



▲3月23日、前日に引き続き熱い発表が



▲「チャレンジャーの声を聞きたい」と駆けつけた山本昌邦さんからも激励の言葉



▲女子ボクシングの好川さんが男子スケルトンの近藤選手を相手に公開スパーリング

チャレンジャーの成果発表の様子は財団ホームページに掲載しています

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 WEBサイト
<http://www.ymfs.jp/>

■研究チャレンジャーの成果発表&交流会 [3月24日・25日 つま恋]

- 研究チャレンジャーの成果発表は2日間で14名。それぞれに分野の異なる研究で、その説明や質疑応答などチャレンジャーにとっては、良い刺激になりました
- パネル展では、積極的な質問やお互いの意見交換などコミュニケーションが活発に行われました
- 交流会では、成果発表会、パネル展に続き、チャレンジャー同士の有意義なコミュニケーションが行われました



▲3月24日、研究チャレンジャーの発表開始。発表と質疑応答で30分。簡潔明瞭なプレゼンテーション。質問も鋭い



3月24日の発表後、各チャレンジャーの発表をパネルで紹介



それぞれがパネルで研究内容を紹介。他のチャレンジャーに説明したり、質問を受けたり自分の研究の参考に



3月25日、前日に引き続き1年間の成果を発表



▲九州大学、綿貫先生からも鋭い質問とアドバイス

チャレンジャーの成果発表の様子は財団ホームページに掲載しています

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団 WEBサイト
<http://www.ymfs.jp/>

■第3期生修了式 [3月26日 つま恋]

- 体験、研究、それぞれ2日間の成果発表会と交流会を終え、一年間のチャレンジをやり終えた達成感と、次の目標に向かうチャレンジの思いを胸に、長谷川理事長から修了証を受け取りました
- 今年は、「世界レベルのチャレンジ成果」に送られる審査委員特別賞は無かったものの、可能性を感じさせるチャレンジに特別チャレンジャー賞が贈られました。受賞者のスピーチに、チャレンジャーは「来年も頑張るぞ!」の思いを強くしていました



▲長谷川理事長から第3期生に修了証を授与



▲1年前に誓った「決意」の寄せ書きを囲み記念撮影



▲特に頑張ったチャレンジャーに「特別チャレンジャー賞」の授与(吉岡さん 研究3期生)



▲大坪審査委員から金沢大学増田さんに「特別チャレンジャー賞」の授与(研究3期生)



▲「特別チャレンジャー賞」の体験2期生阿部さん(ラフティング世界選手権2位)



▲「特別チャレンジャー賞」浜松ホトニクス星川さんのスピーチ(研究3期生)1年間の苦労を思い出し感極まっていた涙。「チャレンジの尊さ」を実感!

■第3期生の目標達成度自己評価 [参考]

- チャレンジャーには四半期報告ごとに年間目標に対する達成度の自己評価をしてもらいました。最終評価で100%が少ないのは、年間目標設定をやや高めに設定しているためと思われます
- 一方で、心技体の伸長や人間的成長などプロセス(主観的)成果は、自身の目標達成努力に加え、四半期報告へのアドバイスや中間報告会、スポーツチャレンジウィークでの先生方のコメント、仲間からの刺激などにより、著しいものがあつたと推察します

●体験助成

氏名(年齢)・団体名	競技種目/他	体験テーマ	年間目標達成度(%)自己評価	
			12月時点	成果発表時点
石倉 恵介(43)	トライアスロン/選手	トライアスロン世界最高峰の大会(アイアンマン・ハワイ)においてエイジ優勝への挑戦	40	40
太田 麻衣子(23)	トライアスロン/選手	トライアスロンで世界に挑戦する	70	70
桑田 幸仁(42)	水泳 (障がい者スポーツ)/選手	日本初、重度障害者が水泳で世界を目指す	50	50
黒須 成美(17)	近代五種/選手	ロンドンオリンピックに向けて	80	80
小島 智子(30)	チアリーディング/選手	NFLチアリーダー日本人最長7年連続合格	80	100
近藤 圭佑(22)	スケルトン/選手	スケルトン競技力の向上 ～バンクーバーオリンピック出場に向けて～	70	70
清水 聖志人(26)	レスリング/選手	2009年レスリング世界選手権での金メダル獲得	70	70
竹花 康太郎(22)	棒高跳び (障がい者スポーツ)/選手	2009年度台北デフリンピック遠征	100	100
谷川 哲朗(24)	フィンスイミング/選手	フィンスイミングの競技力向上 ～世界への挑戦～	60	60
中野 美沙(27)	やり投げ/選手	実践と理論の架け橋になるために	30	50
佐藤 麻衣子(30)	セーリング/選手	セーリング競技のマッチレースという種目で世界を目指す	70	70
原田 窓香(23)	リュージュ/選手	バンクーバーオリンピック出場及び上位入賞の為に	50	50
森下 主税(21)	陸上 (障がい者スポーツ)/選手	2010年IPC世界選手権800m・1500m出場権獲得	—	—
好川 菜々(30)	ボクシング/選手	「世界への思い」	70	70

●研究助成

氏名(年齢)・団体名	研究テーマ	年間目標達成度(%)自己評価	
		12月時点	成果発表時点
小木曾 一之 他2名	バネ能力が長距離走のパフォーマンスに及ぼす影響	40	—
金沢大学 人間科学系運動生理学研究室	運動時の筋内酸素ダイナミクスとコンディショニング評価への応用の可能性	65	90
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 仰木研究室	スポーツにおける飛翔するヒト・用具の新たな運動解析法Ⅱ	60	—
スポーツ工学研究会	卓球競技のためのトレーニング・アシストシステムの開発	70	—
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 整形外科 スポーツ医学 金森 章浩	Platelet Rich in Growth Factorsを用いた末梢血由来成長因子による ウサギ膝内側側副靱帯損傷治療に関する研究	50	85
独立行政法人理化学研究所 生体シミュレーション研究チーム	筋力発揮に伴う腱組織局所変形挙動の加齢変化と障害発生との関連	40	—
浜松ホトニクス株式会社 スポーツホトニクス研究所 星川 佳広	サッカー選手のスプリント能力の評価基準作成と思春期選手の体幹トレーニングの効果	90	100
林 直亨	運動中の眼底血流量変化を記録する試み ～運動時の視覚調節機構解明への手がかり～	90	—
吉岡 伸輔 他1名	クロスカントリースキーマのバイオメカニクス研究	85	—
早稲田大学 スポーツ科学学術院 スポーツ神経科学研究室	野球のボールの回転・軌道と投球動作の関係の解析	70	—
渡邊 航平 他1名	超音波画像法を併用した表面筋電図の新たな記録技術 ～内転筋群への適用例～	80	—

※年間チャレンジ目標は記録や勝敗といった客観的数値目標だけではなく、最終の達成度評価を記入していないチャレンジャーがいることをご了承願います

▶ 応募状況とチャレンジャー

■ 第4期生贈呈式 [3月26日 つま恋]

- 体験8名、研究11名に第4期生チャレンジャーとして助成金、国際スポーツ奨学生2名に第4期生奨学生として奨学金贈呈の決定書が長谷川理事長より贈られました
- 第4期生を代表して、車椅子マラソンの体験チャレンジャー副島さんから1年間のチャレンジに対する決意が表明され、決意表明書が長谷川理事長に手渡され、チャレンジの新たなスタートが切られました
- そのあと、審査委員を代表して浅見審査委員長と今給黎審査委員から激励の言葉が贈られました



▲長谷川理事長から第4期生チャレンジャーに贈呈書を授与



▲第4期生を代表して副島さんの決意表明



▲「さあ、がんばるぞ〜」新たなチャレンジのスタート



▲海洋冒険家 今給黎審査委員から激励の言葉



▲浅見審査委員長から激励の言葉

■ 第4期生応募状況

- 9月1日～11月20日の期間、平成22年度 第4期生の募集を行い、体験助成 46件、研究助成 84件、日本人奨学助成 6件、外国人奨学助成 14件（計150件）という多数の応募があり、論文審査、面接審査を経て第4期生を決定しました
- 事業活動の浸透と共に、コンセプトである「世界に羽ばたく逞しい人材の育成」の言葉に相応しいチャレンジ申請が増えており、年々チャレンジ目標レベルが上がっている傾向があります

スポーツチャレンジ助成		体験助成	研究助成
申請件数	男女別 個人・グループ別	46件 男性…29件・女性…17件 個人…37件・グループ…9件	84件 男性…68件・女性…16件 個人…50件・グループ…34件
年代別	10代	6件 (13.0%)	0件
	20代	22件 (47.8%)	17件 (20.2%)
	30代	9件 (19.6%)	37件 (44.0%)
	40代	8件 (17.4%)	22件 (26.2%)
	50代	1件 (2.2%)	5件 (6.0%)
	60代	0件	3件 (3.6%)
平均年齢		29.2歳	37.05歳
属 性	アスリート	33件 (71.7%)	教授 7件 (8.3%)
	指導者	8件 (17.4%)	准教授 21件 (25.0%)
	障害者スポーツ	3件 (6.5%)	講師 7件 (8.3%)
	その他	2件 (4.3%)	助教 16件 (19.0%)
			教諭 2件 (2.4%)
			大学院生 15件 (17.9%)
			団体研究員 5件 (6.0%)
			その他 11件 (13.1%)

国際スポーツ奨学金	海外留学生	外国人留学生
申請者数	6名 [男性…4名・女性…2名]	14名 [男性…9名・女性…5名]

■ 第4期生選考結果

スポーツチャレンジ助成		体験助成	研究助成
申請件数	男女別 個人・グループ別	8件 男性…4件・女性…4件 個人…8件・グループ…0件	11件 男性…10件・女性…1件 個人…6件・グループ…5件
年代別	10代	2件 (25.0%) 年代別選考率 33.3%	0件
	20代	2件 (25.0%) 年代別選考率 9.1%	4件 (20.2%) 年代別選考率 23.5%
	30代	3件 (37.5%) 年代別選考率 33.3%	5件 (44.0%) 年代別選考率 13.5%
	40代	1件 (12.5%) 年代別選考率 12.5%	2件 (26.2%) 年代別選考率 9.1%
	50代	0件 年代別選考率 0%	0件 (6.0%) 年代別選考率 0%
	60代	0件	0件 (3.6%) 年代別選考率 0%
平均年齢		27.6歳	32.3歳
属 性	アスリート	6件 (75.0%)	教授 0件 (0%)
	障害者スポーツ	2件 (25.0%)	准教授 2件 (18.2%)
			助教 4件 (36.4%)
			大学院生 3件 (27.3%)
			研究員 1件 (9.1%)
			その他 1件 (9.1%)

国際スポーツ奨学金	海外留学生	外国人留学生
対象者数	0名 [男性…0名・女性…0名]	2名 [男性…1名・女性…1名]

参 考 「第3回 スポーツチャレンジウィーク」を終えてのチャレンジャーの感想

■ 原田 窓香さんのブログより

- 【第2・3期生 体験チャレンジャー】女子リュージュ
バンクーバーオリンピック出場 26位
- 【チャレンジテーマ】バンクーバーオリンピック出場及び上位入賞のために



さて、今週は静岡に行ってきました。
私はバンクーバーオリンピックに向けて、自分の思うトレーニングを積みたいと、2年前にはイタリアへ個人遠征をしたり、今年はJISS(国立科学スポーツセンター)で合宿を組んだりしてきました。

そんな活動を支援してくださったのが、ヤマハ発動機スポーツ振興財団さんです。

詳しくはホームページを見ていただければと思いますが、ざっくり言うと目標を持ちそれに向かって努力するスポーツ選手に助成をしてくれるというものです。

私が自分の信じる道を進んでこれたのも、好きなように活動が出来たのも、「後悔はない」と言えるのも、すべてヤマハ発動機スポーツ振興財団さんのおかげです。

で、今週はその成果発表会に行ってきました。

昨年の同じ時期に贈呈式をしていただき、それ以来となる他のメンバーと会い、今年は昨年以上にいろんな話をし、たくさんの刺激をもらってきました。

来年度で4年目となるこのスポーツチャレンジ助成。もともと、とても質の高い助成をさせていただいていましたが、どんどん向上していて、目標設定、計画、振り返り、反省といったサポートだけでなく、他のスポーツの方との出会いまたは研究者の方との出会いも増え、私はこの助成の第3期生に選んでいただいたことに、本当に感謝しています。

私が言うのもおこがましいですが、スポーツは人に勇気を与えるというのは 本当だな、と改めて思いました。もちろん、人に勇気を与えるツールはたくさんあります。この不況の真っ只中でスポーツにお金をかける必要があるのか というのもよく分かります。

しかし、人々がスポーツから勇気を、希望を、夢を得られるのなら、それが例えたった一人の人であったとしても、それはとても価値のあることなのではないかと、改めてそう思いました。本当にいろいろ考えさせられた1週間で、たくさんの刺激を受けました。

ヤマハ発動機スポーツ振興財団さんをはじめ、審査員の先生方、そして、他のチャレンジャー・研究生・留学生の皆様に、本当に感謝しています。

【スポーツ文化事業】

▶WEBサイト

■体験助成・第4期生チャレンジャー

氏名(年齢)・団体名	競技種目／他	体験テーマ	所属	出身地
新谷 誠(16)	アイスホッケー／選手	アイスホッケーでロシア及び北米プロリーグへの挑戦、2014年ソチ冬季五輪出場を目指す	ロシア・モスクワ 公立第1076番校	北海道
桑田 幸仁(43)	水泳(障がい者スポーツ)／選手	重度障がい者が水泳でロンドンパラリンピックを目指す	会社員	静岡県
小島 智子(31)	チアリーディング／選手	NFLチアリーダー8年連続合格	NFLTampaBay Buccaneers Cheerleaders	大阪府
副島 正純(39)	陸上(障がい者スポーツ)／選手	ロンドンパラリンピックへの挑戦 ～IPC世界陸上選手権大会出場とメダルの獲得～	会社員	福岡県
鈴木 康大(24)	カヌー／選手	ロンドン五輪に私が出場する ～20年以上オリンピック出場を逃すカヌースプリント競技で～	会社員	千葉県
守田 泰弘(22)	レスリング／選手	世界選手権への挑戦、そしてロンドンオリンピックへ!	日本体育大学 4年	福岡県
山下 はるな(19)	トランポリン／選手	トランポリン世界選手権・ロンドンオリンピック出場に向けた取り組み	静岡産業大学 1年	静岡県
好川 菜々(31)	ボクシング／選手	ロンドンオリンピックに向けて	大阪教育大学職員	大阪府

■研究助成・第4期生チャレンジャー

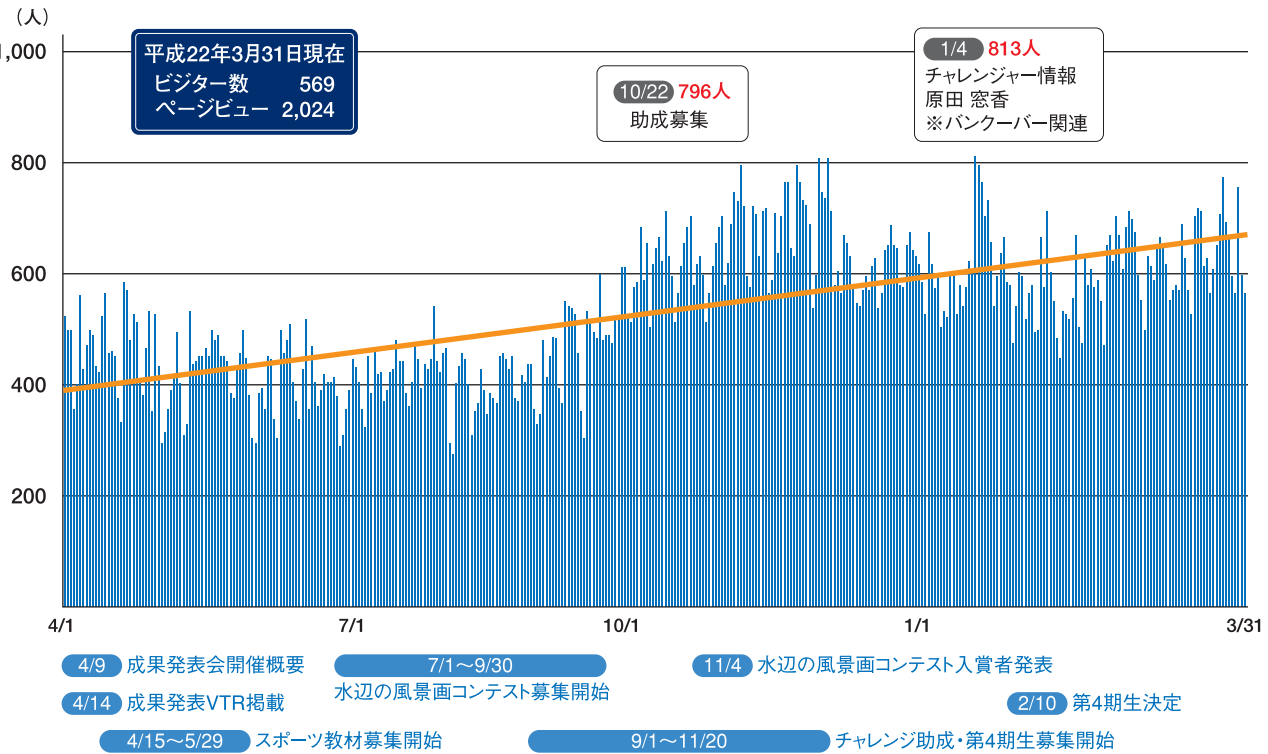
氏名(年齢)・団体名	研究テーマ	所属
稲垣 智彦	ドイツにおけるスポーツクラブの社会的機能性	北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 博士課程2年
稲葉 優希	方向転換走の素早さに関するバイオメカニクス研究	東京大学大学院 総合文化研究科 身体運動科学研究室 修士2年
木村 哲也	持久的運動時の心拍リズムと筋収縮リズムの同期化現象に関する生理学的意義の解明	京都大学大学院 人間・環境学研究科 技術補佐員
久保 啓太郎	脱トレーニングが腱特性および跳躍能に及ぼす影響	東京大学大学院 総合文化研究科 助教
島本 好平	アスリート用ライフスキル評価尺度の開発とその影響要因の横断的・縦断的検討	東京工業大学大学院 社会理工学研究科 特別研究員
首都大学東京 人間健康科学研究科 行動生理学研究室(西島 壮)	日常生活の不活動化はうつ病発症リスクを高めるか?	首都大学東京 人間健康科学研究科 助教
電気通信大学 量子・物質工学科 生命情報工学講座(狩野 豊)	バイオイメージングによる筋代謝産物の可視化	電気通信大学 量子・物質工学科 生命情報工学講座 准教授
橋本 健志	脂肪細胞を鍛える因子の探索	兵庫県立大学大学院 生命科学研究科 細胞機能学分野 特任助教
藤田 聡 他2名	骨格筋肥大に関わるシグナル因子の特定 一運動・栄養のテラーメイド・プログラム作成への挑戦	立命館大学 経済学部 准教授
三浦 哲都 他1名	ストリートダンサーの優れたパフォーマンスを支えるリズム感の解明	東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程1年
早稲田大学 スポーツ科学学術院(後藤 一成)	高脂肪食摂取と睡眠時間の短縮がメタボリックシンドローム関連因子に及ぼす影響	早稲田大学 スポーツ科学学術院 助教

■外国人留学生奨学金

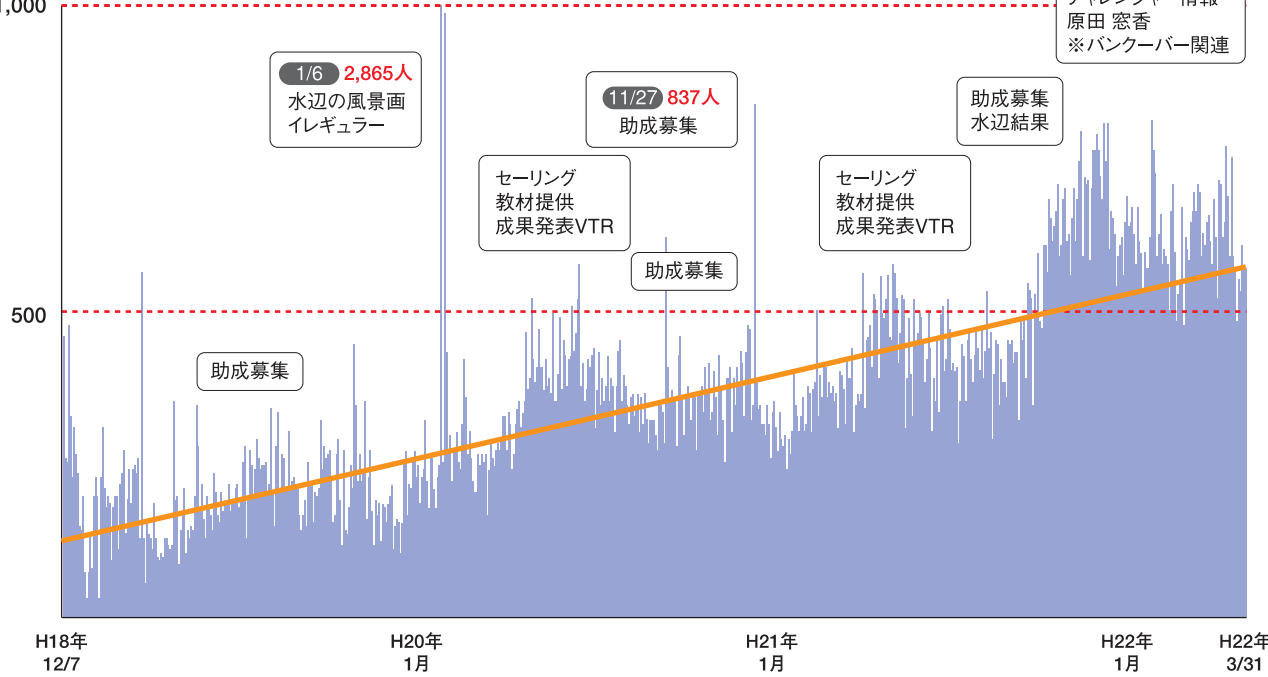
氏名(年齢)	国籍	留学テーマ	所属大学
金 ウンビ(24)	韓国	音楽を用いた身体活動の心理的・生理的效果と運動の継続性に関する研究	筑波大学大学院 博士前期課程入学予定
林 勝龍(33)	台湾	日本統治下における台湾野球の文化研究	早稲田大学大学院 博士後期課程 1年

■2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)財団WEBサイト ビジター数推移

- 各事業の充実と共にWEBサイトでの情報の質と量が向上し、ビジター(アクセス)数は着実に増加しています。特に今年度は「公益財団法人」認定に伴っての財団紹介関連やスポーツチャレンジ助成事業のチャレンジャー紹介、各種募集関連をはじめとしてアクセス数は増加しました
- また、過去3年間(下グラフ)では約3倍強の推移になっており、着実に財団活動が浸透しているのがわかります



■過去3年間のWEBサイト ビジター数推移



▶ 表彰制度「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」

■表彰式 [3月26日 つま恋]

- スポーツ界を支える「縁の下の力持ち」を表彰。受賞者と選考理由は以下のとおり
【功労賞】塚越 克己さん：長年の「スポーツ医・科学の発展の牽引」および「アンチドーピング推進」に対する功労
【奨励賞】増田 雄一さん：アスレティック・トレーナーとして「トップレベルのサポート技術を一般レベルに拡大」する取り組み
- 表彰式には、お二人の関係の多くの方々が駆けつけて、祝福しました。こうした光景を見るにつけ、アスリートの活躍やスポーツの科学的進化など、スポーツ界は、こうした陰で支える人たちの「縁の下の力」で成り立っていることを実感しました
- また、昨年の功労賞中野先生と奨励賞丸山さんも駆けつけ、お二人を祝福しました



▲長谷川理事長からお二人を表彰



▲お二人の功績をスライドで紹介



▲祝福に駆けつけた仲間も含め記念撮影



▲昨年の第1回功労賞 中野先生から祝辞

▲昨年の第1回奨励賞 丸山さんもお祝い

浅見審査委員長のコメント

この賞では単に縁の下で活躍されているだけではなく、その能力も含めて人柄や影響力という基準を大変重視しています。今回の功労賞の塚越さんは、東京オリンピックを起点とした日本のスポーツ医・科学に対する計り知れない貢献度を、奨励賞の増田さんについては数々の国際大会でのサポートの他、後進の育成、トップアスリートへの技術を一般のスポーツ愛好家へという取り組みが選考理由となっていますが、それに加えて、これからのチャレンジャーたちの目標になるような人間性を持ち合わせています。お二人にはぜひ今後とも日本のスポーツの発展に貢献していただきたいと思います。

功労賞受賞の塚越さんのコメント

私がスポーツ医・科学の分野に足を踏み入れた50年前の日本には、まだ「スポーツ科学」という言葉がありませんでした。東京教育大学の専攻科を卒業し、日本体育協会スポーツ科学研究所（国立スポーツ科学センターの前身）の職員となったわけですが、まだトタン屋根だった御茶ノ水の施設で、研究活動ばかりでなく、予算組みの仕事や文部省との折衝、そしてプロジェクトの進行など、スポーツ医・科学を支えるさまざまな仕事に携わらせていただくことができました。私が今こうして賞をいただくことができましたのも、戦後文部省の初代体育局長である東俊郎先生や幹事を務められた東京大学の加藤橋夫先生、さらに黒田善雄先生といった方々のご指導の賜物だと考えております。また、こうした先生方のスポーツ医・科学に対する先見の明に、この場をお借りしてあらためて感謝申し上げたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

奨励賞受賞の増田さんのコメント

これまでのキャリアにおいてオリンピックなどの国際大会にも何度か帯同させていただきましたが、私個人がなにか特別なことをしたということはなく、多くの先輩諸氏がいる中でこの賞をお受けしていいのかという悩みもありました。しかしながら、これまでトレーナーを表彰していただくような制度はありませんでしたので、今回は日本のトレーナー全体を表彰していただいた、という思いで受賞させていただきました。バンクーバーで開催されました冬季オリンピック、そしてパラリンピックでも多くの日本人選手が活躍し、我々に夢と勇気を与えてくれました。そしてその陰に私たちの仲間である多くのトレーナーが選手を献身的にサポートしていたことを、皆様の頭の片隅に入れていただければとても嬉しく思います。この賞はチャレンジという名前がついています。私も次世代を担うトレーナーの育成、そしてトップアスリートだけでなく、スポーツ愛好家の方へのサポートを充実できるよう、これからもますますチャレンジしていきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

平成21年度ヤマハ発動機
スポーツ振興財団
スポーツチャレンジ賞

功労賞

塚越 克己 さん



■塚越 克己さんプロフィール

1937年2月10日生 群馬県出身 73歳

東京教育大学体育学部卒業後の1960年に同大学体育学部専攻科（大学院）に進み、東京教育大学体育学部 スポーツ科学研究室に在籍。卒業後は（財）日本体育協会 スポーツ科学研究所に籍置き、1997年、所長として定年退職を迎えるまで日本のスポーツ医・科学発展の牽引者として数々の実績を残した。同年、（財）横浜市体育協会 横浜市スポーツ医科学センター健康科学課課長に就任。2001年には自ら設立にかかわった（財）日本アンチ・ドーピング機構の事務局長に就き、2008年に退職。

■受賞理由 [日本のスポーツ医・科学の発展を牽引した「縁の下の力持ち」]

東京教育大学体育学部スポーツ科学研究室に在籍した1960年から現在に至るまで、約50年間にわたって日本のスポーツ医・科学の第一線で活躍した。東京オリンピックの前後から、アンチ・ドーピングに関する各種啓発活動を開始したのをはじめとして、高地トレーニングの研究と実践、強化指定選手制度の導入、日本体育協会公認スポーツドクター制度の確立、青少年の体力に関する日中共同研究などのプロジェクト研究、秩父宮記念スポーツ医・科学賞の制定、国立スポーツ科学センターの設立等、さまざまなプロジェクトの推進役として多くの研究者のサポートを行ってきた。

近年では、長年の研究テーマであったアンチ・ドーピング普及・啓発に情熱を傾け、（財）日本アンチ・ドーピング機構の設立と運営に尽力した。

日本のスポーツ医・科学の黎明期は、研究のための仕組みや機器など「ないものばかり」。測定機器がなければそれを設計し、仕組みがなければグランドデザインを描いてマネージャーにもなった。その姿は、まさに日本のスポーツ医・科学発展の「縁の下の力持ち」と言える。

平成21年度ヤマハ発動機
スポーツ振興財団
スポーツチャレンジ賞

奨励賞

増田 雄一 さん



■増田 雄一さんプロフィール

1961年5月22日生 大阪府出身 48歳

同志社大学では陸上部に所属。腰痛に苦しんだ経験から選手をケアする側に興味を持ち、「スポーツの現場で必要とされているのは鍼灸の技術」という思いに至る。卒業後は鍼灸専門学校に進み、母校・同志社大学陸上部のコーチ兼トレーナーとしてアスレティック・トレーナーの第一歩を踏み出す。1987年、ミズノ（株）に入社。社員トレーナーとして陸上、バレーボール、卓球、ラグビーなどの現場で活躍。1989年、ユニバーシアード・デュースブルク大会（西独）に帯同したのを皮切りに、各種の国際大会にアスレティック・トレーナーとして派遣される。2001年に（有）リニアートを設立し、スポーツに親しむ一般の人々を対象にカウンセリングや治療を開始。1992年バルセロナ五輪（陸上）、1998年長野五輪、2002年ソルトレイク五輪、2004年アテネ五輪、2008年北京五輪に帯同し、日本選手の活躍を陰で支えた。

■受賞理由 [トップレベルのサポート技術を一般レベルに拡大する取り組み]

アスレティック・トレーナーとしてオリンピックの選手団に帯同するなど、さまざまな競技のトップ選手をサポートしながら、同時に「人々がスポーツを行う上で幸せになる環境を創造する」ことをめざして、①トレーナーの人材育成や雇用促進（活躍の場の拡大）、②各競技団体や学校、大会等へのトレーナー派遣、③研修会や講習会を通じた知識・技能の開示等を積極的に行い、アスレティック・トレーナーの地位向上と、トップレベルのケアで築いた経験や技能を社会や一般スポーツ愛好家に還元する取り組みにチャレンジしている。現在、サポートを行っているのは、7人制ラグビー日本代表チーム、JR 東日本ランニングチーム、サントリーラグビー部、サントリーフーズラグビー部、日立ハイテクカーガーズ、JOMO サンフラワーズ、昭和学院高校女子バスケットボール部、昭和学院中学女子バスケットボール部、日本陸上競技連盟ナショナルチーム、立教大学女子バスケットボール部、東邦高校ハンドボール部など。